

品 番

TH-80LFC70J (80V型)

TH-65LFC70J (65V型)

TH-50LFC70J (50V型)

取扱説明書 ディスプレイ編 フルハイビジョン液晶ディスプレイ(業務用)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-50LFC70J (50V型)、TH-65LFC70J
(65V型)、TH-80LFC70J (80V型) 共用です。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号を
お確かめください。

保証書別添付

HDMI

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主にTH-50LFC70Jを元に作成しています。

安全上のご注意	3
お手入れ／上手な使いかた	8
付属品の確認	9
CD-ROMの内容について	9
別売オプション	10
リモコンの電池の入れかた	10
接続	11
電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定	11
スピーカー端子の接続	13
映像機器の接続	13
VIDEO (ビデオ入力) 端子、COMPONENT RGB IN (コンポーネント／RGB入力) 端子の接続例	15
HDMI 1・HDMI 2 (HDMI入力) 端子の接続例	16
DVI-D IN (DVI-D入力) 端子の接続例	16
PC IN (パソコン入力) 端子の接続例	17
SERIAL (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)	18
PC OUT (モニターアウト) 端子の接続例	19
DIGITAL LINK端子の接続例	20
各部の基本説明	21
基本の操作	24
電源を入れる	24
入力信号を切り換える	26
入力信号・画面モードなどを知りたいとき	27
音量を調整する	27
消音を使う	27
オフタイマー (OFF TIMER) を使う	27
画面領域を拡大表示する (デジタルズーム)	28
映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)	29
2画面で表示する	31
2画面モード	31
2画面で表示する	31
メモリービューワー機能	32
メモリービューワー画面を表示する	34
静止画を再生する	35
動画を再生する	36
Miracast(TM)を使う	37

オンスクリーンメニューについて	38
画面位置/サイズの調整 (POS./SIZE)	39
自動位置補正	39
音声の調整 (SOUND)	42
SDI音声出力	43
画質の調整 (PICTURE)	44
テクニカル調整	45
メモリー機能を使う	46
メモリーに保存する	47
メモリーを呼び出す	48
メモリーを編集する	48
初期設定 (SET UP)	49
2画面設定	50
ネットワーク設定	51
メモリービューワー設定	51
信号モード	52
スクリーンセーバー	55
ECOモード設定	57
入力表示書換設定	58
ファンクション設定	59
タイマー設定	60
現在時刻設定	60
コンポーネント入力切換	61
YUV / RGB切換	61
モニター出力	61
無操作自動オフ	61
メニュー表示時間・OSD輝度	62
表示言語切換	62
オプション (Options) メニュー	63
Weekly Command Timer (ウィークリーコマンドタイマー)	64
Audio input select (音声入力選択)	65
Input Search (無信号時自動入力切換)	66
画面モード一覧	70
Weekly Command Timerのコマンド	71
表示可能な入力信号	72
工場出荷時の設定に戻すには	73
修理を依頼される前に	74
Miracastをご使用のとき	75
保証とアフターサービス	76
仕様	77
ソフトウェアライセンス	79
商標について	80

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 気をつけていただく内容です。

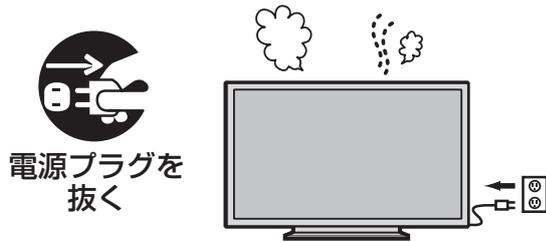
 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！
電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントを使用ください



煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！



■異物を入れないでください



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
●特にお子様にはご注意ください。

■壁掛けまたは天吊り工事は、工事専門業者にご依頼ください

 工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の別売オプションをご使用ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

●表紙および3ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

電源コードについて

- クラス I 構造の本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください。



- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください
- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。



火災や感電の原因となります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



ぬれ手禁止



感電の原因となります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外では使用しないでください

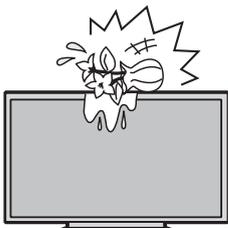


たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 上に水などの液体の入った容器を置かないでください



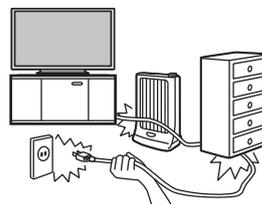
水ぬれ禁止



水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください



傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

- ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら本機には触れないでください



接触禁止

感電の原因となります。

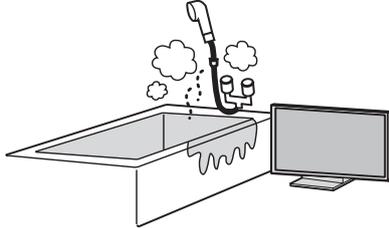


警告

- 風呂場、シャワー室では使用しないでください

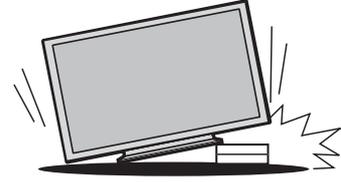


水場使用禁止



火災・感電の原因となります。

- 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

- 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。
内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

注意

- 本機の通風孔をふさがないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は10 cm以上、後面は7 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがないでください。その他の取り付けかたでご使用のときは、対応する取り付け工事説明書に従ってください。（工事説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は10 cm以上、後面は7 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。）
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 本機に脚立を立てかけるなどしないでください



落下してけがの原因となることがあります。

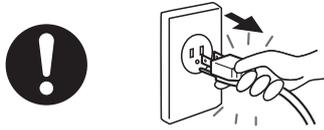
- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください



調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く
電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、接続線を外してください



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグや機器間の接続線や転倒防止具を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 本機に衝撃を与えないでください。

- 据置きスタンド（別売）をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよく登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 据置きスタンドに付属している転倒防止具を使用してください。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 開梱や持ち運びは次の人数で行なってください

TH-50LFC70J：2人以上
TH-65LFC70J：4人以上
TH-80LFC70J：4人以上

- TH-80LFC70Jのみ
運搬や移動をする場合は、指定した箇所を保持して行ってください



落下してけがの原因になることがあります。

- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください



間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



ディスプレイパネルが割れてけがの原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っばったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください



機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れについて

- 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



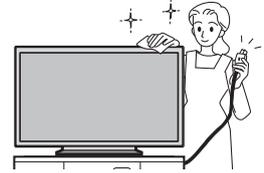
内部にほこりがたまっただま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

お手入れ／上手な使いかた

■ 設置される時

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

- **機器相互の干渉に注意してください。**
電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけて設置してください。
- **機器の接続は電源を「切」にして行ってください。**
各機器の説明書に従って、接続してください。
- **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**
本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- **本機の質量に耐えられる場所に設置してください。**
指定の取り付けユニットをご使用ください。
- **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**
高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。
- **直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。**
キャビネットの変形や故障の原因となります。
- **本機を移動される時。**
ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。
- **直射日光にさらされる様な場所に設置しないでください。**
直射日光が当たると液晶パネルに悪影響を与える場合があります。

■ ご使用になるとき

- **本機は残像が発生することがあります。**
静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。
- **画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。**
液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。
- **ディスプレイパネル表面について**
ディスプレイパネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。
傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- **適度の音量で隣近所への配慮を**
特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

- **ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。**

前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

- **長時間ご使用にならないときは**

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。リモコンで電源を切った場合は約 0.5 W、本体の電源を切った場合は約 0.3 W の電力を消費します。



■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- **キャビネットやディスプレイパネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく**

・ひどい汚れやディスプレイパネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

・水滴が内部に入ると故障の原因になります。

- **【お知らせ】** ディ스플레이パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

- **化学ぞうきんのご使用について**

・ディスプレイパネルの表面には使用しないでください。

・キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。

- **殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない**

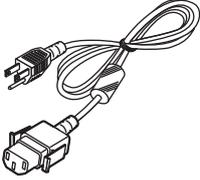
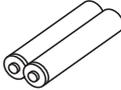
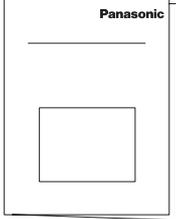
キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



付属品の確認

付属品が入っていることをご確認ください。()は個数です。

お願い 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。

<input type="checkbox"/> 電源コード (1)	<input type="checkbox"/> リモコン (1) N2QAYB000691	<input type="checkbox"/> 単 3 形乾電池 (2) (リモコン用)	<input type="checkbox"/> クランパー (1) TMME289
			
<input type="checkbox"/> ソフトウェア CD-ROM (1)	<input type="checkbox"/> 取扱説明書		
			

CD-ROMの内容について

付属品のCD-ROMには、以下の内容が収録されています。

説明書 (PDF)	取扱説明書 ディスプレイ編	
	取扱説明書 ネットワーク操作編	
	ワイヤレスマネージャー ME 取扱説明書	
	ソフトウェアライセンス文	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
ソフトウェア	ワイヤレスマネージャー ME (Windows/Mac)	パソコンの画面をワイヤレス／有線 LAN 送信するためのソフトウェアです。 入力を Panasonic APPLICATION に切り換えて使用します。詳しい操作方法はワイヤレスマネージャー ME の取扱説明書をご覧ください。

別売オプション

別売オプションの設置は、しっかり取り付けてください。(取り付けは専門の業者にご依頼ください。)

- 据え置きスタンド：TY-ST42P50 (50V型用) *
TY-ST65P20 (65V型・80V型用)
- ディスプレイ用移動式スタンド：
TY-ST50PB2 (50V型用)
TY-ST65PB2 (65V型用)
TY-ST80LF70 (80V型用)
- 移動式スタンド：TY-ST58PF20 (50V型用)
- 壁掛け金具 垂直取付型：TY-WK42PV20 (50V型用)
TY-WK70PV50 (80V型用)
- 壁掛け金具 角度可変型：TY-WK42PR20 (50V型用)
TY-WK65PR20 (65V型用)
- 天吊り金具：TY-CE42PS20 (50V型用)
- デュアルビデオ端子 (BNC) ボード：TY-FB9BD
- DVI-D端子ボード：TY-FB11DD
- Dual Link HD-SDI端子ボード：TY-FB11DHD
- HD-SDI端子ボード：TY-FB9HD
- HD-SDI端子ボード (音声対応)：TY-FB10HD
- デュアルHDMI端子ボード：TY-FB10HMD
- デジタルインターフェースボックス：ET-YFB100

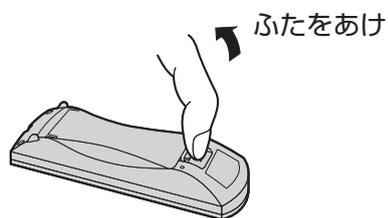
お願い

- 取り付けるときは別売オプションに同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 壁掛けまたは天吊りの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 当社製以外のスタンド、壁掛け金具または天吊り金具の使用、ならびにスタンド、壁掛け金具または天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

*TY-ST42P50ご使用時のお願い(50V型用)

スタンドポールは“プラスマディスプレイ用(長い)”(品番:TBLA3679、TBLA3680)をご使用ください。

リモコンの電池の入れかた



お願い

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

接続

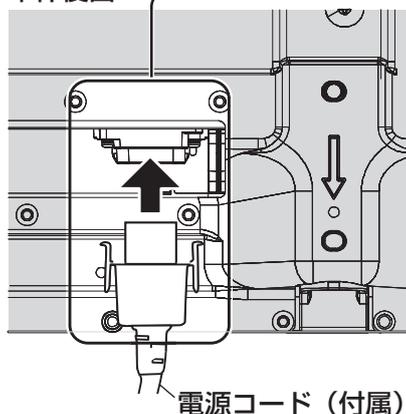
電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定

TH-50LFC70JおよびTH-65LFC70J

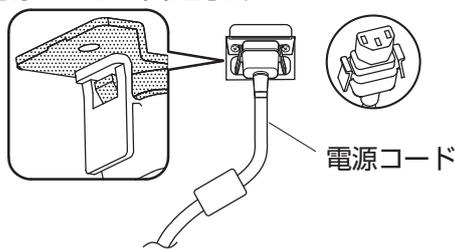
お願い

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

本体後面



電源コードの固定方法



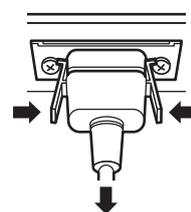
お願い

左右のロックが掛かっていることを確認してください

電源プラグを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

電源コードを外すとき



電源プラグ横のつまみを押しながらかいてください

お願い

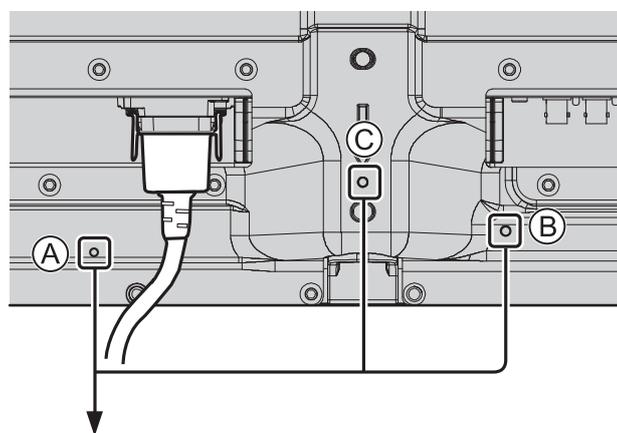
電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

壁掛け金具（垂直取り付け型）で設置するとき（TH-50LFC70J）

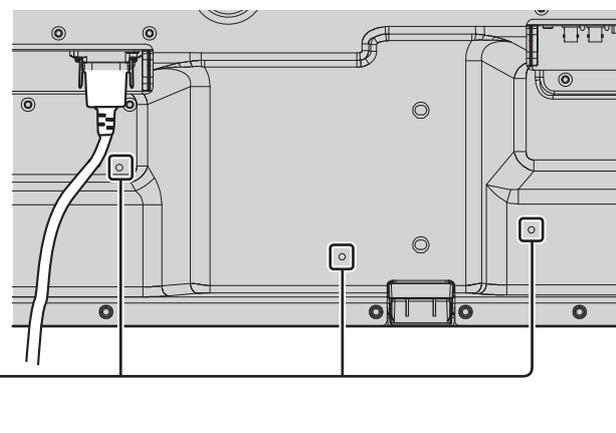
お願い

壁掛け金具（垂直取り付け型）（TY-WK42PV20）をご使用のときは、㉠および㉢の2ヵ所でケーブルを固定してください。㉡の穴にクランパーを取り付けると、壁掛け金具に挟み込むおそれがあります。

TH-50LFC70J



TH-65LFC70J

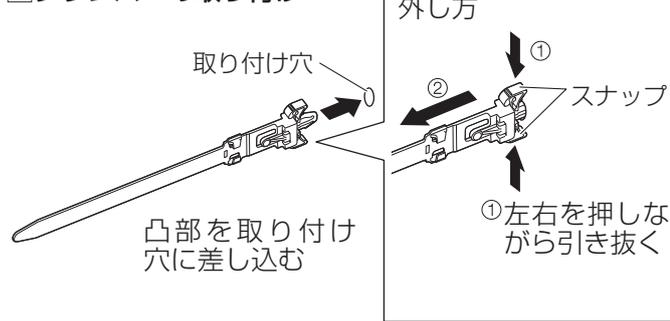


接続ケーブルの固定

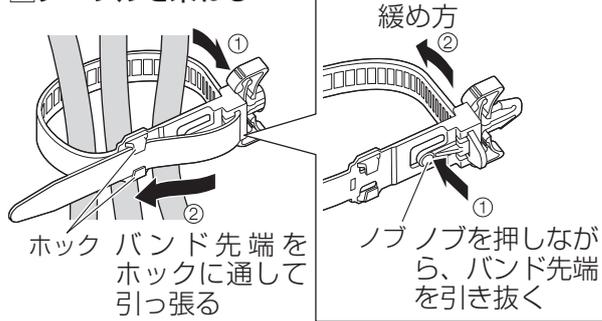
お願い

本機はクランパーを1本だけ付属しています。ケーブルを3ヵ所の穴で固定する場合はクランパーを別途ご用意ください。クランパーをご用意される場合はお買い上げの販売店へご注文ください。（サービスルート扱い）

①クランパーの取り付け



②ケーブルを束ねる



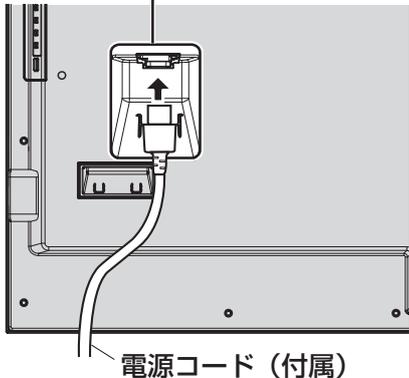
接続

TH-80LFC70J

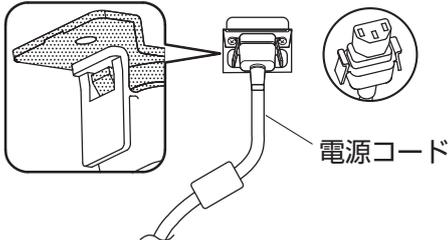
お願い

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

本体後面



電源コードの固定方法



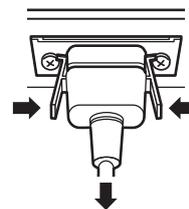
お願い

左右のロックが掛かっていることを確認してください

電源プラグを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

電源コードを外すとき



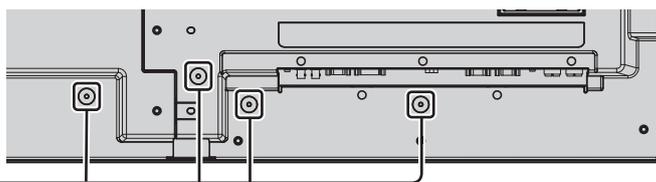
電源プラグ横のつまみを押しながらかいてください

お願い

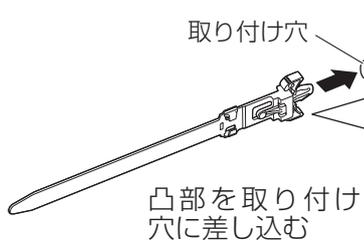
電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

お願い

本機はクランパーを1本だけ付属しています。ケーブルを4カ所の穴で固定する場合はクランパーを別途ご用意ください。クランパーをご用意される場合はお買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)

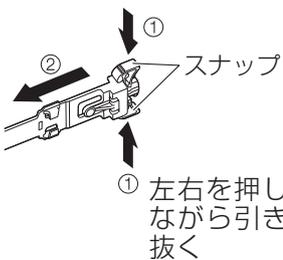


①クランパーの取り付け



凸部を取り付け穴に差し込む

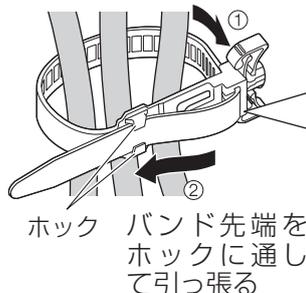
外し方



① スナップ

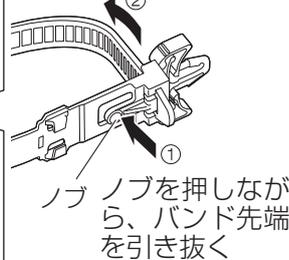
① 左右を押しながらかいて抜く

②ケーブルを束ねる



バンド先端をホックに通して引っ張る

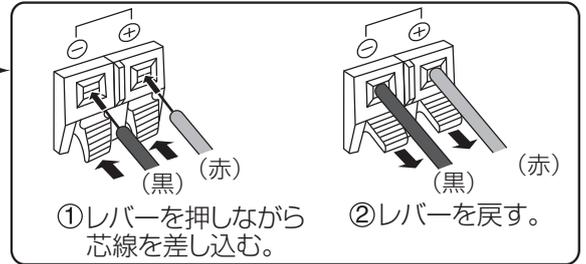
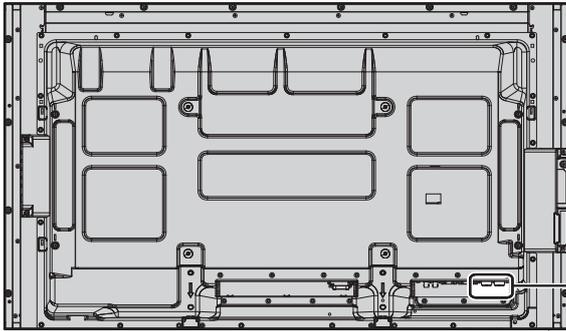
緩め方



① ノブを押しながらかいて、バンド先端を引っ張る

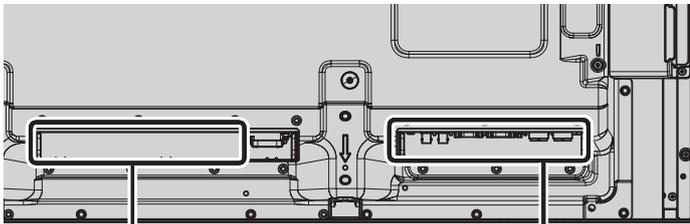
スピーカー端子の接続

8Ω、10Wのスピーカーをご使用ください。



映像機器の接続

TH-50LFC70JおよびTH-65LFC70J



SLOT: 端子ボード(別売オプション)取付用
スロット (P.10ページ)

お知らせ

右側のスロットは2スロット幅の端子ボード
用です。右側に1スロット幅のボードを取り
付けても動作しません。

AV IN (VIDEO):
コンポジットビデオ入力端子
(P.15ページ)

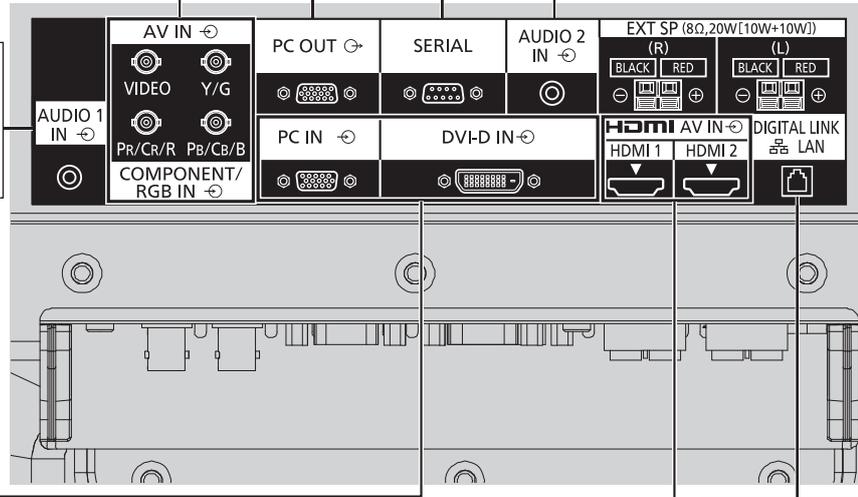
COMPONENT/RGB IN:
コンポーネント/RGBビデオ入
力端子 (P.15ページ)

PC OUT:
モニターアウト端子
本機に表示している映像信号を
パソコンの映像信号として他の
サブモニターに出力します。
(P.19ページ)

SERIAL:
シリアル制御端子
パソコンに接続して本機
を制御します。
(P.18ページ)

AUDIO 2 IN:
DVI-D INとPC IN
共用の音声入力端子
(P.16・17ページ)

AUDIO 1 IN:
VIDEOと
COMPONENT/RGB
IN共用の音声入力端子
(P.15ページ)



PC IN: パソコン入力端子
パソコンの映像端子または「Y、P_B(C_B)、
P_R(C_R)」出力のある機器を接続します。
(P.17ページ)

DVI-D IN: DVI-D入力端子 (P.16ページ)

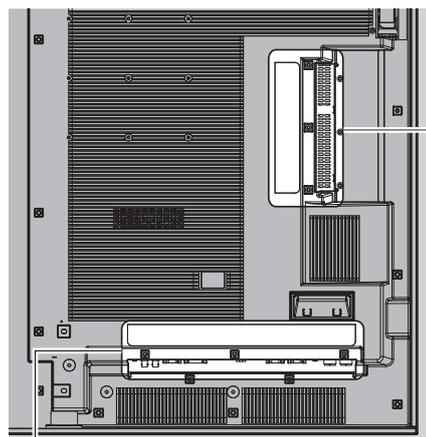
AV IN (HDMI 1, HDMI 2):
HDMI入力端子
ビデオデッキやDVDプレーヤー
などの映像機器を接続します。
(P.16ページ)

LAN, DIGITAL LINK※:
DIGITAL LINK入力端子
ネットワークに接続して本機を制御
します。または、DIGITAL LINK端
子経由で映像・音声信号を送出する
機器を接続します。(P.20ページ)

※ DIGITAL LINK は、映像・音声などの信号をツイストペアケーブルを使用して伝送する技術です。
詳しくは取扱説明書「ネットワーク操作編」をご覧ください。

接続

TH-80LFC70J



SLOT : 端子ボード(別売オプション)取付用スロット (☞ 10ページ)

お知らせ

上側のスロットは2スロット幅の端子ボード用です。上側に1スロット幅のボードを取り付けても動作しません。

AV IN (VIDEO) :

コンポジットビデオ入力端子 (☞ 15ページ)

COMPONENT/RGB IN :

コンポーネント/RGBビデオ入力端子 (☞ 15ページ)

AUDIO 1 IN:

VIDEOと
COMPONENT/RGB IN
共用の音声入力端子
(☞ 15ページ)

AV IN (HDMI 1, HDMI 2):

HDMI入力端子
ビデオデッキやDVDプレーヤー
などの映像機器を接続します。
(☞ 16ページ)

SERIAL:

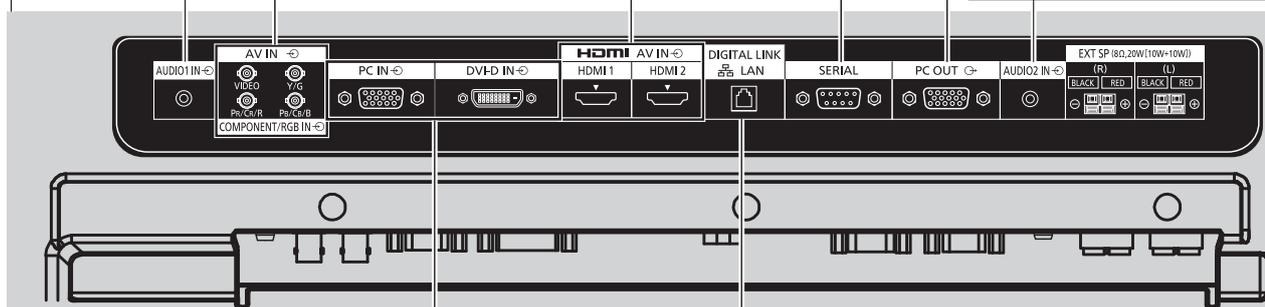
シリアル制御端子
パソコンに接続して
本機を制御します。
(☞ 18ページ)

PC OUT :

モニターアウト端子
本機に表示している映像信号
をパソコンの映像信号として
他のサブモニターに出力しま
す。(☞ 19ページ)

AUDIO 2 IN:

DVI-D INとPC IN共用
の音声入力端子
(☞ 16・17ページ)



PC IN : パソコン入力端子

パソコンの映像端子または「Y、P_B(C_B)、P_R(C_R)」
出力のある機器を接続します。
(☞ 17ページ)

DVI-D IN : DVI-D入力端子 (☞ 16ページ)

LAN, DIGITAL LINK※ :

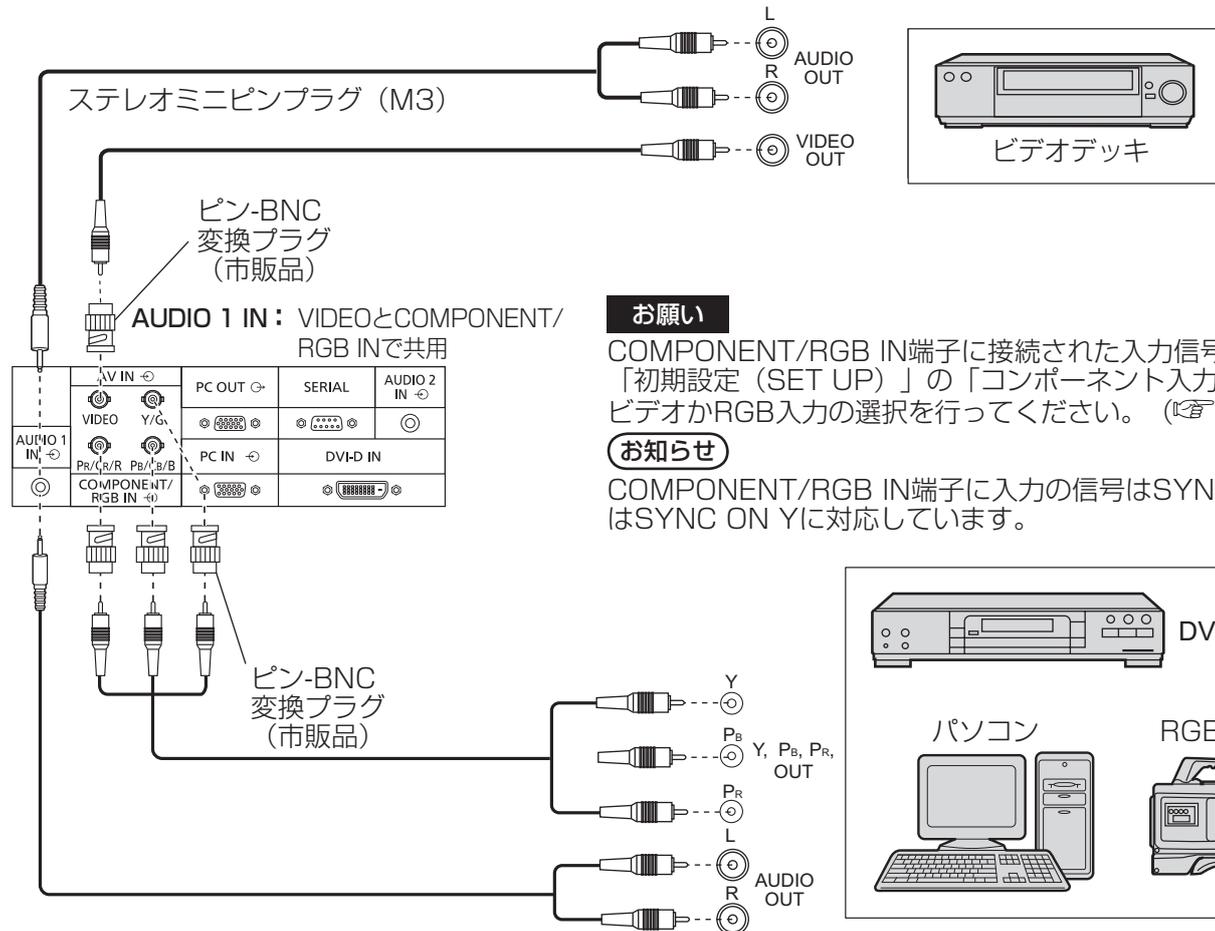
DIGITAL LINK入力端子
ネットワークに接続して本機を制御します。また
は、DIGITAL LINK端子経由で映像・音声信号を送
出する機器を接続します。(☞ 16ページ)

※ DIGITAL LINK は、映像・音声などの信号をツイストペアケーブルを使用して伝送する技術です。
詳しくは取扱説明書「ネットワーク操作編」をご覧ください。

VIDEO (ビデオ入力) 端子、COMPONENT RGB IN (コンポーネント / RGB入力) 端子の接続例

お知らせ

映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。



接続

HDMI 1・HDMI 2 (HDMI入力) 端子の接続例

HDMI端子のピン配列と信号名

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ2 +	⑪	T.M.D.S クロックシールド
②	T.M.D.S データ2 シールド	⑫	T.M.D.S クロッキー
③	T.M.D.S データ2 -	⑬	CEC
④	T.M.D.S データ1 +	⑭	予備 (接続なし)
⑤	T.M.D.S データ1 シールド	⑮	SCL
⑥	T.M.D.S データ1 -	⑯	SDA
⑦	T.M.D.S データ0 +	⑰	DDC/CEC グランド
⑧	T.M.D.S データ0 シールド	⑱	+5V 電源
⑨	T.M.D.S データ0 -		
⑩	T.M.D.S クロック+		

お知らせ

映像機器やHDMIケーブルは本機に付属していません。

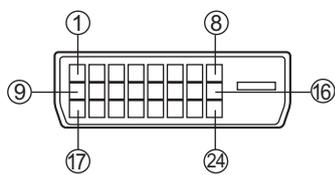
DVI-D IN (DVI-D入力) 端子の接続例

DVI-D出力付きパソコン

PC INと共用

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 -	⑬	_____
②	T.M.D.S. データ 2 +	⑭	+5V 電源
③	T.M.D.S. データ 2 シールド	⑮	アース
④	_____	⑯	ホットプラグ検出
⑤	_____	⑰	T.M.D.S. データ 0 -
⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S. データ 0 +
⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑧	_____	⑳	_____
⑨	T.M.D.S. データ 1 -	㉑	_____
⑩	T.M.D.S. データ 1 +	㉒	T.M.D.S. クロック シールド
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド	㉓	T.M.D.S. クロック +
⑫	_____	㉔	T.M.D.S. クロッキー

DVI-D入力端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 -	⑬	_____
②	T.M.D.S. データ 2 +	⑭	+5V 電源
③	T.M.D.S. データ 2 シールド	⑮	アース
④	_____	⑯	ホットプラグ検出
⑤	_____	⑰	T.M.D.S. データ 0 -
⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S. データ 0 +
⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑧	_____	⑳	_____
⑨	T.M.D.S. データ 1 -	㉑	_____
⑩	T.M.D.S. データ 1 +	㉒	T.M.D.S. クロック シールド
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド	㉓	T.M.D.S. クロック +
⑫	_____	㉔	T.M.D.S. クロッキー

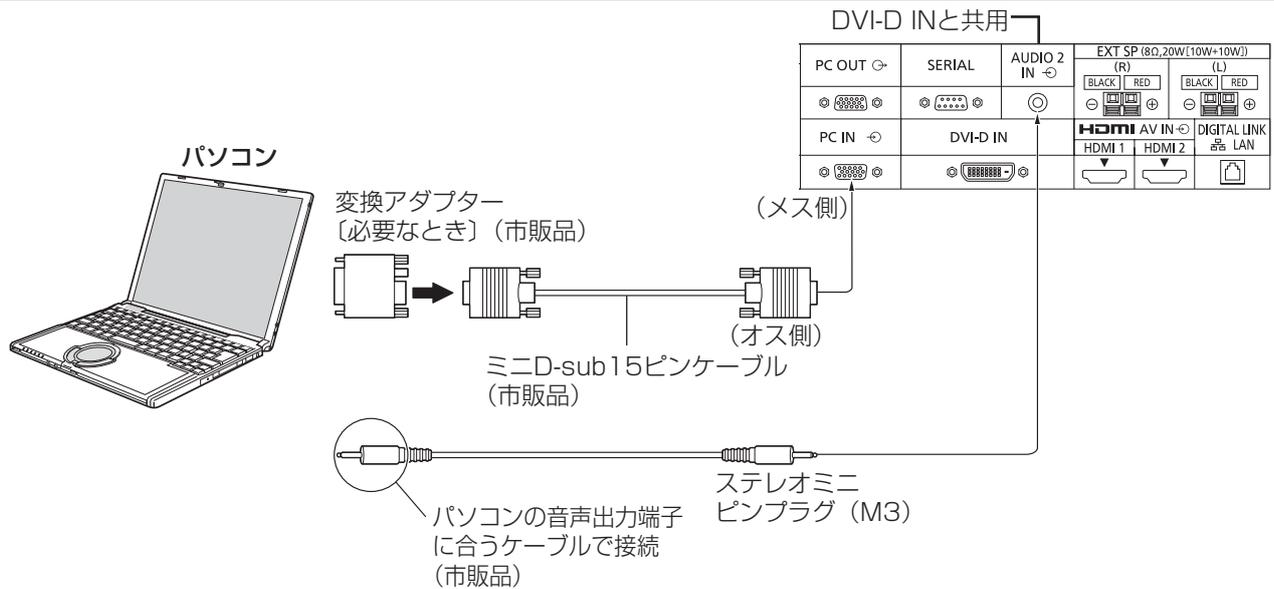
お願い

DVI-DケーブルはDVI規格準拠のケーブルをご使用ください。(ケーブルの長さや質によって画質は劣化する場合があります)

お知らせ

映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。

PC IN (パソコン入力) 端子の接続例



接続できるパソコン信号の種類

- 本機は、下の表に記載の代表的な 32 種類のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。
表に記載されていないパソコン信号は、最大 8 種類まで追加して記憶します。
(対応周波数は水平：15 kHz～110 kHz、垂直：48 Hz～120 Hz です。)
〈本体に記憶済みのパソコン信号一覧表〉 ※ パソコン側が以下の信号に対応している必要があります。

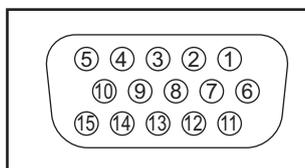
640×400:70 Hz	800×600:72 Hz	1280×768:60 Hz ※	1600×1200:65 Hz
640×480:60 Hz	800×600:75 Hz	1280×800:60 Hz	1066×600:60 Hz ※
640×480:72 Hz	800×600:85 Hz	1280×960:60 Hz	1366×768:60 Hz ※
640×480:75 Hz	1024×768:60 Hz	1280×960:85 Hz	1440×900:60 Hz
640×480:85 Hz	1024×768:70 Hz	1280×1024:60 Hz	1920×1080:60 Hz
852×480:60 Hz ※	1024×768:75 Hz	1280×1024:75 Hz	640×480:67 Hz (Mac13")
800×600:56 Hz	1024×768:85 Hz	1280×1024:85 Hz	832×624:75 Hz (Mac16")
800×600:60 Hz	1152×864:75 Hz	1600×1200:60 Hz	1152×870:75 Hz (Mac21")

- 解像度は「ノーマル」で最大1440×1080ドット、「フル」で最大1920×1080ドットの表示が可能です。(SXGA 対応)
水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が上記の表に該当しているかご確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。(パソコンの取扱説明書をご確認ください)

お願い この端子(ミニD-sub15ピン)は、コンポーネント(色差)ビデオ信号に対応しています。入力信号に合わせて初期設定(SET UP)の「コンポーネント入力切換」で色差ビデオかRGB入力の選択を行ってください。(P.73 ページ)

- お知らせ**
- ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ(DDC2B)に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
 - パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
 - D-sub15ピン端子の機種やMacintoshのパソコンを接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※パソコンのミニD-sub15ピン端子が、DOS/Vに対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

パソコン入力端子(ミニD-sub15ピン)のピン配列と信号名



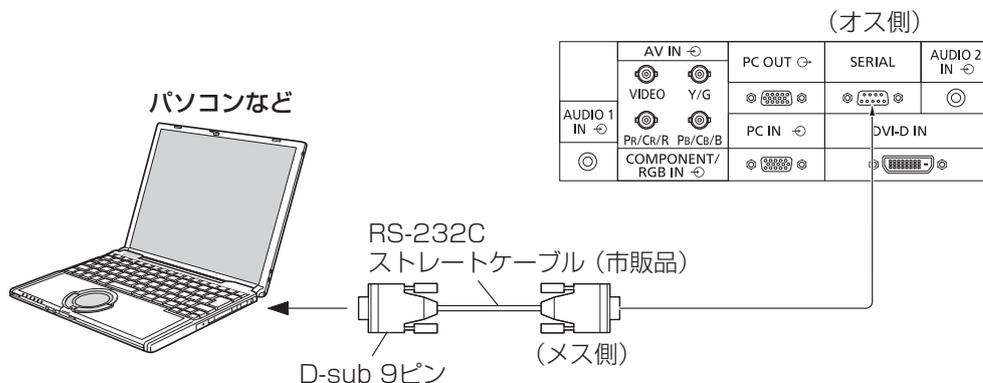
ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R(P _R / C _R)	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G(Y)	⑦	GND(アース)	⑫	SDA
③	B(P _B / C _B)	⑧	GND(アース)	⑬	HD / SYNC
④	NC(無接続)	⑨	+5 V DC	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	SCL

接続

SERIAL (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

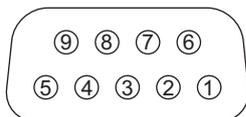
SERIAL (シリアル) 端子はRS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本体をパソコンで制御することができます。

お知らせ 本機をシリアル制御する場合は「ネットワーク設定」メニューの「制御端子選択」を必ず「RS-232C」に設定してください。(取扱説明書「ネットワーク操作編」)



お願い SERIAL (シリアル) 端子とパソコンをつなぐ通信用RS-232Cストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

ピン配列と信号名



本体側
シリアル (SERIAL) 端子

ピンNo.	信号名	内容
①	CD	NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④	DTR	未使用
⑤	GND	グラウンド
⑥	DSR	未使用
⑦	RTS] (本体側で短絡)
⑧	CTS	
⑨	RI	NC

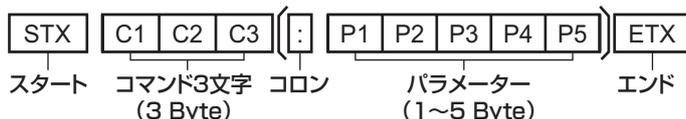
通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期 (非同期)
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

※ パソコン側の仕様で記載しています。

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン (:) は必要ありません。

- お知らせ**
- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
 - 電源「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」) 中は“PON”コマンド以外の動作は保証されません。
 - コマンドIMSのS1AとS1Bを選択できるのは、2入力の端子ボード装着時のみです。
 - コマンドの詳細については販売店にご相談ください。

コマンド一覧

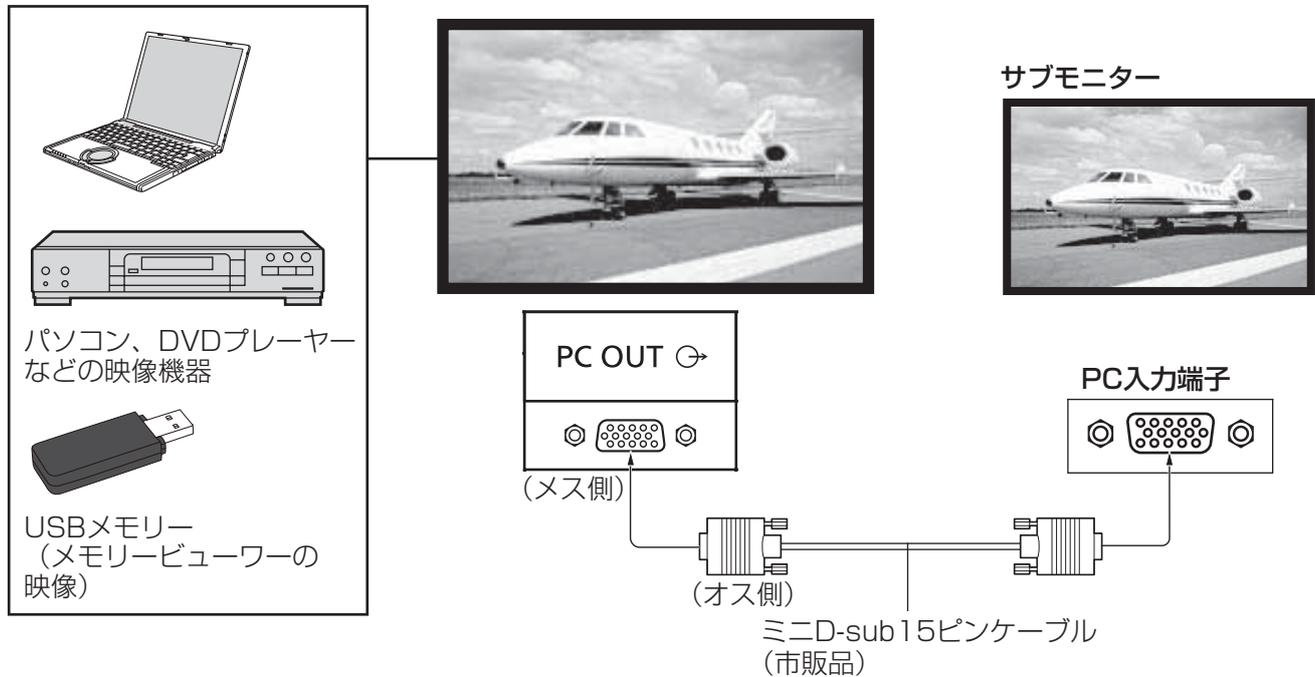
コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	**	音量 00 ~ 63
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	なし	入力切替 (トグル)
	SL1	SLOT入力 (SLOT INPUT)
	S1A	SLOT入力 (SLOT INPUT A)
	S1B	SLOT入力 (SLOT INPUT B)
	VD1	VIDEO入力 (VIDEO)
	YP1	COMPONENT/RGB IN入力 (COMPONENT)
	HM1	HDMI 1入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI 2入力 (HDMI2)
	DV1	DVI-D IN入力 (DVI)
	PC1	PC IN入力 (PC)
	DL1	DIGITAL LINK入力 (DIGITAL LINK)
MG1	Miracast入力 (Miracast(TM))	
MV1	メモリービューワー入力 (MEMORY VIEWER)	
DAM	なし	画面モード切替 (トグル)
	ZOOM	ズーム (ビデオ/SD/パソコン信号時)
	FULL	フル
	JUST	ジャスト (ビデオ/SD信号時)
	NORM	ノーマル (4:3) (ビデオ/SD/パソコン信号時)
	ZOM2	サイドカットズーム (HD信号時)
	SJST	サイドカットジャスト (HD信号時)
	SNOM	サイドカットノーマル (HD信号時)
	SFUL	サイドカットフル (HD信号時)

PC OUT (モニターアウト) 端子の接続例

映像機器からの入力映像など、本機に表示している映像を他のサブモニターに表示できます。

本機能を使用するには「初期設定」-「モニター出力」を「オン」に設定してください。(P.61ページ)

お知らせ 「オン」に設定すると「画像の調整」メニューの調整値は標準値になります。



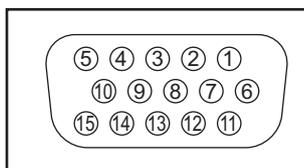
出力可能な入力信号

入力信号	出力信号
HDMI入力信号 (HDMI 1、HDMI 2) HDCP (著作権保護) 非対応	1,920×1,080@50Hzまたは 1,920×1,080@60Hz
DVI入力信号 (DVI-D IN) HDCP (著作権保護) 非対応	1,920×1,080@50Hzまたは 1,920×1,080@60Hz
PC入力信号 (PC IN) 「コンポーネント入力切替」が「RGB」に設定されているときに対応	1,920×1,080@50Hzまたは 1,920×1,080@60Hz
メモリービューワー画面 (MEMORY VIEWER)	1,920×1,080@60Hz

お知らせ

- 出力信号の画角は、画面表示されている状態に変換されます。
- 次の入力信号は出力できません。
コンポーネント入力 (COMPONENT/RGB IN)
コンポジットビデオ入力 (VIDEO)
Miracast映像 (Miracast(TM))
ワイヤレスマネージャー (Panasonic APPLICATION)

モニターアウト端子 (ミニD-sub15ピン) のピン配列と信号名

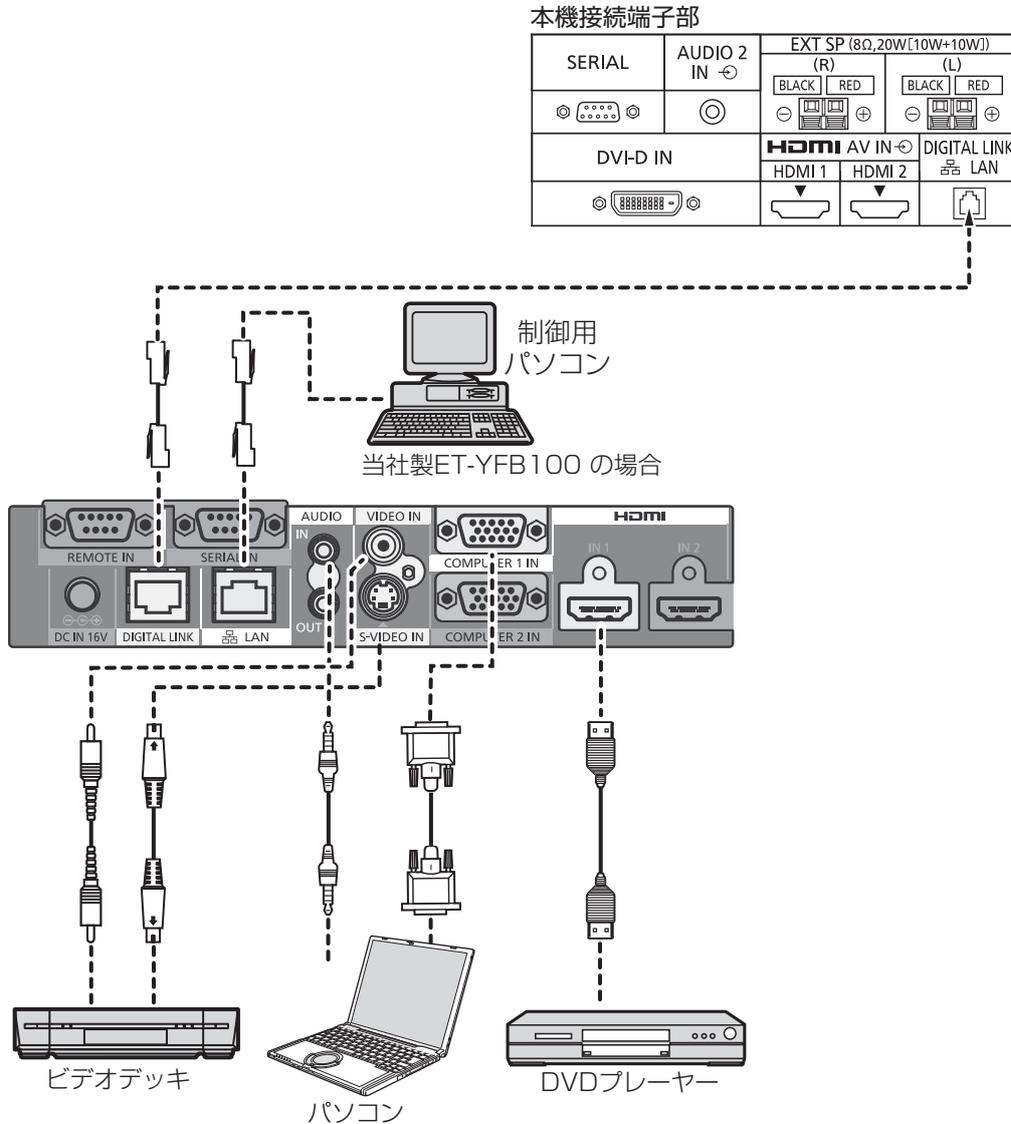


ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G	⑦	GND(アース)	⑫	NC(無接続)
③	B	⑧	GND(アース)	⑬	HD
④	NC(無接続)	⑨	NC(無接続)	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	NC(無接続)

接続

DIGITAL LINK端子の接続例

当社製デジタルインターフェースボックス（ET-YFB100）などのツイストペアケーブル伝送器は、入力された映像・音声信号などをツイストペアケーブルを使用して伝送するもので、本機はそのデジタル信号をDIGITAL LINK端子に入力することができます。



お知らせ DIGITAL LINK接続をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行ってください。
DIGITAL LINKの設定や接続上の注意事項については取扱説明書「ネットワーク操作編」をご覧ください。

各部の基本説明

リモコン

電源

ディスプレイ本体の電源を入/切します。
(☞ 24ページ)

画質の調整 (PICTURE)

(☞ 44・45ページ)

画面位置/サイズ調整 (POS./SIZE)

(☞ 39～41ページ)

消音 (MUTE)

音声を一時的に消します。
(☞ 27ページ)

標準 (N)

映像や音声などの調整状態を標準値に戻します。

決定 (■)

メニュー画面で項目を決定します。

上・下・左・右 (▲・▼・◀・▶)

メニュー画面で項目の選択や設定の切り換え、レベルを調整します。

入力切替 (INPUT)

接続された機器の入力に切り換えます。(☞ 26ページ)

ECOモード (ECO)

ECOモードの設定状態を切り換えます。
(☞ 57ページ)

画面モード (ASPECT)

拡大画面を選択します。
(☞ 29・30ページ)

オフタイマー (OFF TIMER)

自動的に電源を切ります。
(☞ 27ページ)

自動位置補正 (AUTO SETUP)

画面の位置/サイズを自動補正します。
(☞ 39ページ)

音声の調整 (SOUND)

(☞ 42・43ページ)

初期設定 (SET UP)

(☞ 49～62ページ)

音量 (VOL ▲)

音量を調整します。
(☞ 27ページ)

戻る (R)

映像、音声などの調整画面、各種機能の設定画面を1つ前の状態に戻します。

画面表示 (RECALL)

入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。
(☞ 27ページ)

デジタルズーム (ZOOM)

デジタルズームモードにします。
(☞ 28ページ)

FUNCTIONボタン (FUNCTION)

(☞ 59ページ)



お願い

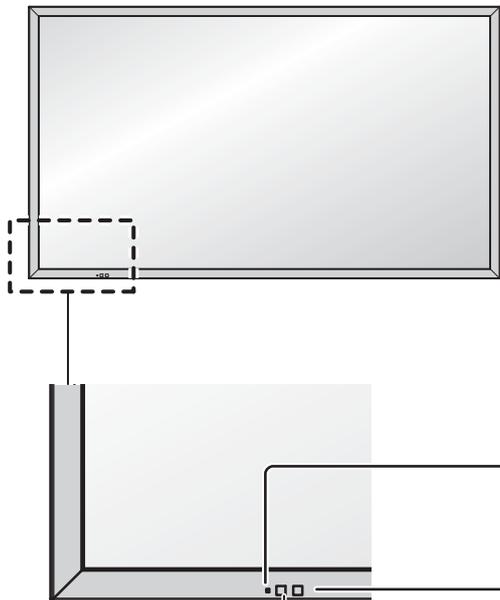
- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

各部の基本説明

ディスプレイ本体

TH-50LFC70JおよびTH-65LFC70J

前面



電源ランプ

ディスプレイ本体の電源「入」のとき

- 映像表示状態 緑色点灯
 - リモコンで「切」(スタンバイ状態) 赤色点灯
 - ・ Slot powerが「On」で、端子ボードを装着しているとき 橙色点灯
 - ・ 装着ボードの種類により、
 - ・ スロットに電源供給されるとき (☞68ページ) 橙色点灯
 - ・ 制御端子選択が「DIGITAL LINK/LAN」のとき 橙色点灯
 - ・ 無線ネットワーク待機モードが「オン」のとき 橙色点灯
 - HDMI1パワーマネージメントまたはHDMI2パワーマネージメントで電源「切」(☞57ページ) 橙色点灯
 - PCパワーマネージメントで電源「切」(DPMS機能) (☞57ページ) 橙色点灯
 - DVI-Dパワーマネージメントで電源「切」(☞57ページ) 橙色点灯
- ディスプレイ本体の電源「切」のとき 消灯

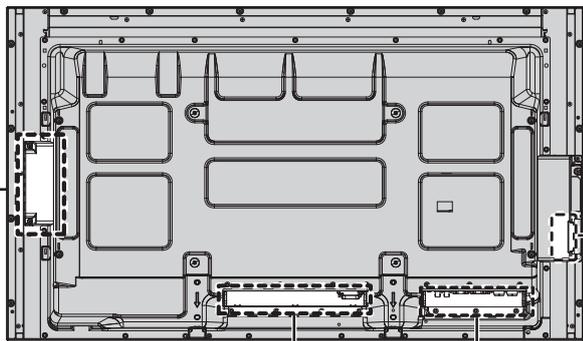
- 電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが橙色の場合は赤色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。

明るさセンサー

視聴環境の明るさを検知します。(☞57ページ)

リモコン
受信部

後面



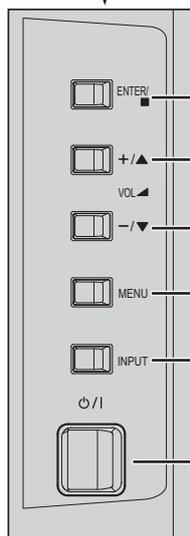
USB (VIEWER): USBメモリーを接続します。(☞33ページ)

SLOT: 端子ボード(別売オプション)取付用スロット (☞10ページ)

お知らせ

右側のスロットは2スロット幅の端子ボード用です。右側に1スロット幅のボードを取り付けても動作しません。

外部入力端子 (☞13ページ)
映像機器やパソコンなどを接続します。



ENTER / ■ : メニュー画面で項目を決定します。/画面モードを切り換えます。

VOL +/- / ▲▼ : 音量を調整します。/メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。

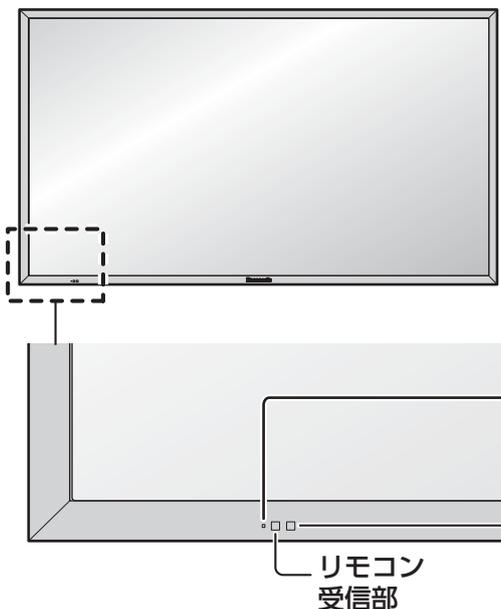
MENU : メニュー画面を表示します。(☞38ページ)

INPUT : 接続された機器を選択します。(☞26ページ)

電源 (o/I) : 電源を「入」・「切」します。

TH-80LFC70J

前面



電源ランプ

ディスプレイ本体の電源「入」のとき

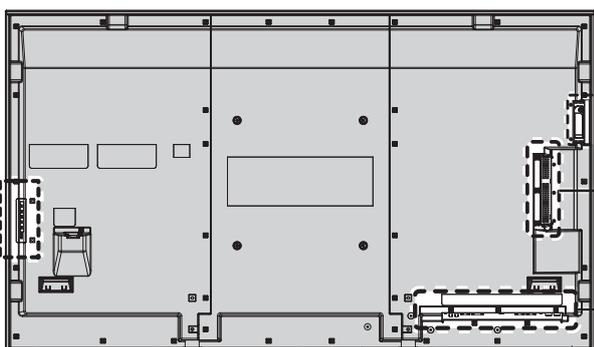
- 映像表示状態 …… 緑色点灯
- リモコンで「切」(スタンバイ状態) …… 赤色点灯
- ・ Slot powerが「On」で、端子ボードを装着しているとき …… 橙色点灯
- ・ 装着ボードの種類により、スロットに電源供給されるとき (☞ 68ページ) …… 橙色点灯
- ・ 制御端子選択が「DIGITAL LINK/LAN」のとき …… 橙色点灯
- ・ 無線ネットワーク待機モードが「オン」のとき …… 橙色点灯
- HDMI1パワーマネージメントまたはHDMI2パワーマネージメントで電源「切」(☞ 57ページ) …… 橙色点灯
- PCパワーマネージメントで電源「切」(DPMS機能) (☞ 57ページ) …… 橙色点灯
- DVI-Dパワーマネージメントで電源「切」(☞ 57ページ) …… 橙色点灯
- ディスプレイ本体の電源「切」のとき …… 消灯
- 電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが橙色の場合は赤色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。

明るさセンサー

視聴環境の明るさを検知します。(☞ 57ページ)

リモコン
受信部

後面



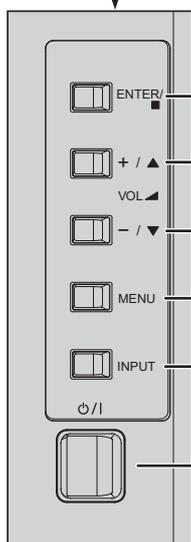
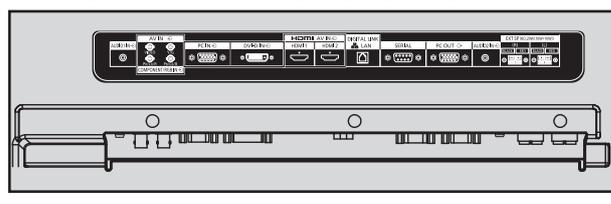
USB (VIEWER): USBメモリーを接続します。(☞ 33ページ)

SLOT: 端子ボード(別売オプション)取付用スロット (☞ 10ページ)

お知らせ

上側のスロットは2スロット幅の端子ボード用です。上側に1スロット幅のボードを取り付けても動作しません。

外部入力端子 (☞ 14ページ)
映像機器やパソコンなどを接続します。



ENTER / ■: メニュー画面で項目を決定します。/画面モードを切り換えます。

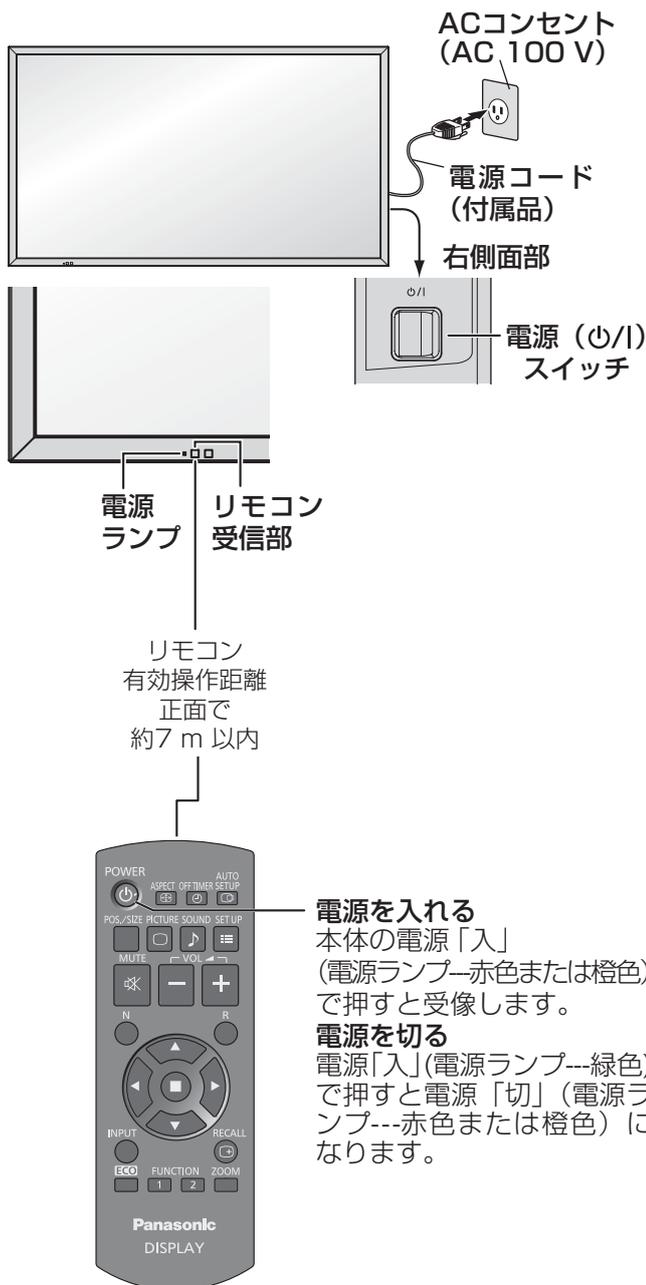
VOL +- / ▲▼: 音量を調整します。/メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。

MENU: メニュー画面を表示します。(☞ 38ページ)

INPUT: 接続された機器を選択します。(☞ 26ページ)

電源 (⏻/⏻): 電源を「入」・「切」します。

基本の操作



電源を入れる
 本体の電源「入」
 (電源ランプ---赤色または橙色)
 で押すと受像します。

電源を切る
 電源「入」(電源ランプ---緑色)
 で押すと電源「切」(電源ラ
 ンプ---赤色または橙色)に
 なります。

準備

電源プラグをコンセントへ接続します。
 (AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お願い ●電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

電源を入れる

本体の電源 (ON/OFF) スイッチを押し電源を「入」にします。

電源ランプが緑色に点灯します。

●本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

【ネットワークの起動】

電源を入れたとき、ネットワークの起動に時間がかかります。その間、「初期設定」メニューの「ネットワーク設定」はグレー表示になり、設定できません。

本機の電源を「入」にした後、しばらくの間、下のように画面表示されます。

初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。
 リモコンで設定してください。本体のボタンでは設定できません。

お知らせ

これらの画面は一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。

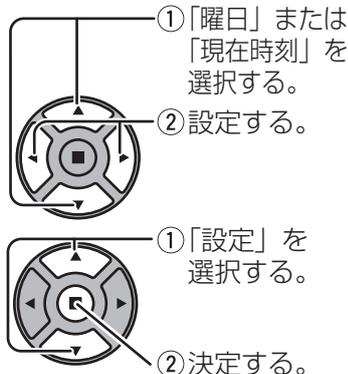
必要に応じて、次のメニューで設定してください。

表示言語切替 ☞ 62ページ
 現在時刻設定 ☞ 60ページ

表示言語切替



現在時刻設定



電源「入」時のメッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。

無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。(☞ 61ページ)

パワーマネジメントお知らせメッセージ

パワーマネジメントが働きました。

「パワーマネジメント」が働いた場合、電源を入れたときにお知らせメッセージが表示されます。(☞ 57ページ)

これらのメッセージは、次のメニューで設定できます。

「Options」メニュー

Power On Message (No activity power off) (☞ 69ページ)

Power On Message (Power Management) (☞ 69ページ)

ネットワーク情報の表示

次のような場合に本機のネットワーク情報が表示されます。

入力がPanasonic APPLICATIONで電源を「入」にしたとき

他の入力からPanasonic APPLICATIONに切り換えたとき

入力がPanasonic APPLICATIONで  を押したとき

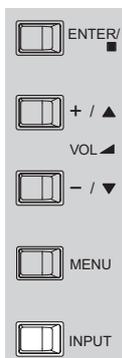
表示例：



基本の操作



本体右側面部



入力信号を切り換える

INPUT  または  を押して本機に入力された信号を選択します。押すごとに切り換わります。

INPUT  を押した後、▲▼で入力を選んで  を押しても設定できます。

INPUT	
HDMI1	HDMI 1端子のHDMI入力
HDMI2	HDMI 2端子のHDMI入力
SLOT INPUT	端子ボードの入力信号※ ¹
VIDEO	VIDEO端子のコンポジットビデオ入力
COMPONENT	COMPONENT/RGB IN端子のコンポーネント/RGB入力※ ²
PC	PC IN端子のパソコン入力
DVI	DVI-D IN端子のDVI-D入力
DIGITAL LINK	DIGITAL LINK端子のDIGITAL LINK入力
Miracast(TM)	Miracast機能を使うときにこの入力に切り換えます。(☞ 37ページ)
Panasonic APPLICATION	有線/無線LANで「ワイヤレスマネージャー」を使用するときこの入力に切り換えます。
MEMORY VIEWER	メモリービューワー機能を使うときにこの入力に切り換えます。(☞ 34ページ)

※¹「SLOT INPUT」はオプションの端子ボードを装着している場合に表示されます。

2入力の端子ボードを装着している場合は、「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示します。

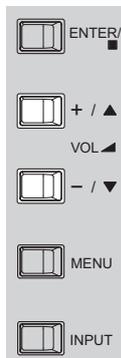
本機が対応していない端子ボードが装着されている場合は「非対応ファンクションボード」と表示します。

※²「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切替」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(☞ 61ページ)

- お知らせ**
- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。(☞ 58ページ)
 - 「Audio input select」で設定した音声が出力されます。(☞ 65ページ)
 - 「Input lock」が「Off」以外の設定のときは入力は切り換わりません。(☞ 67ページ)
 - コンポーネント(色差)ビデオ、RGBの切り換えは、接続した機器に合わせて初期設定(SET UP)の「コンポーネント入力切替」で設定します。(☞ 61ページ)
 - ビデオ入力は「NTSC」「PAL」「SECAM」などのカラーシステム方式の切り換えができます。(☞ 52ページ)
 - 静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の焼き付き(残像現象)が発生する場合があります。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能のご利用をおすすめします。(☞ 55ページ)
 - Panasonic APPLICATION入力でワイヤレスマネージャーに接続している時、入力をMiracast(TM)やMEMORY VIEWERに切り換えると接続が切れます。また、Miracast(TM)入力でMiracastに接続している時、入力をPanasonic APPLICATIONやMEMORY VIEWERに切り換えると接続が切れます。入力切り換え後、再度接続を確認してください。



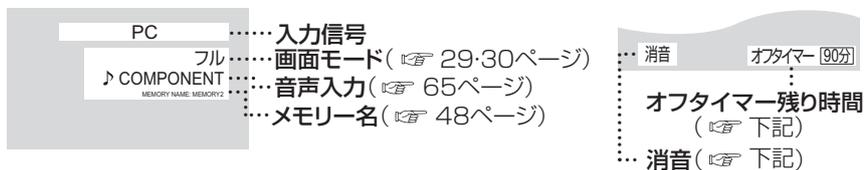
本体右側面部



入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

RECALL
 を押すと現在の入力信号と画面モードおよび現在時刻を約5秒間表示した後、オフタイマーと消音が動作中の場合はオフタイマーの残り時間を約3秒間、消音を約10秒間表示します。



- 選択している入りに映像信号がない場合は、最後に「無信号」が約30秒間表示されます。
- 時計表示をするには、現在時刻を設定し、「Clock Display」を「On」に設定してください。(参照 60・64ページ)

音量を調整する

または を押して音量を調整します。



- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- Maximum VOL level (最大音量設定) が「On」のときは、設定した音量まで上げると表示(数値)は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。(参照 97ページ)

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの対応のとき便利です。

MUTE
 を押します。

消音

画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押すと解除されます。

- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。

オフタイマー (OFF TIMER) を使う

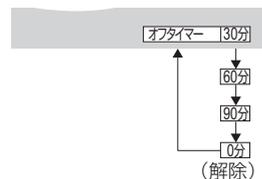
タイマー設定 (30分、60分、90分) で自動的に電源を切ることができます。

OFF TIMER

を押すごとにタイマー設定時間が選択できます。

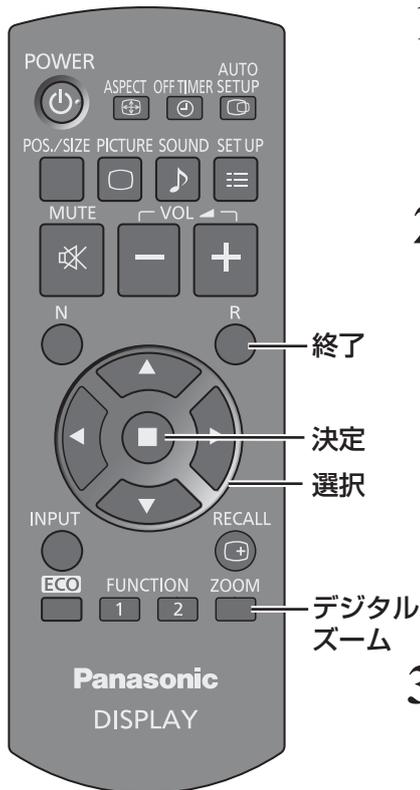
- タイマーが切れる3分前になると残り時間を点滅(赤色)表示した後、電源が切れます。

- オフタイマー残り時間を知りたいときは **RECALL**
 を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。



画面領域を拡大表示する（デジタルズーム）

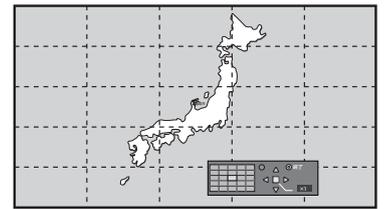
拡大したい画面領域（25領域）を選び、選んだ画像領域を2倍、3倍、4倍に拡大します。
(リモコンで操作してください。本体のボタンでは操作できません。)



1 デジタルズームモードにする

ZOOM を押します。

画面のアスペクトは「フル」になり、デジタルズーム操作ガイドが表示されます。



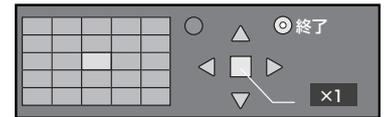
2 拡大したい画像領域を選ぶ

▲▼◀▶ を押して選びます。

- 画面を拡大しているときでも選べます。
- 以下のボタンを押すと、デジタルズームモードのまま、押されたボタンの動作を行います。

リモコン：**[-]**、**[+]**、**[MUTE]**、**[OFF TIMER]**

本体右側面：**[+/-]**、**[VOL +/-]**（音量調整）

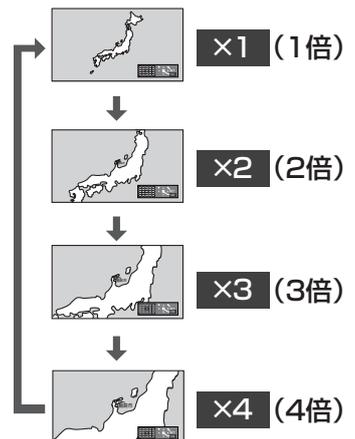


デジタルズーム操作ガイド

3 画面領域の拡大率を切り換える

■ を押すごとに、切り換わります。

- 画面の拡大率が「×1（1倍）」の場合に、約60秒間操作をしないと、終了します。
 - 画面の拡大率が「×2（2倍）」、「×3（3倍）」、「×4（4倍）」の場合に、約3秒間操作をしないとデジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。
- ▲▼◀▶** のいずれかを押すと、再度表示します。



4 デジタルズームモードを終了する

R を押すと、終了します。

画面はデジタルズームモードに入る前の状態になり、デジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

- 以下のボタンを押すと、終了します。その後、押されたボタンの動作を行います。

リモコン：**[R]**、**[ASPECT]**、**[POS./SIZE]**、**[PICTURE]**、**[SOUND]**、**[SET UP]**、**[RECALL]**、**[ECO]**、**[FUNCTION]** **[1]** **[2]**

本体右側面：**[INPUT]**、**[MENU]**、**[ENTER/]**

- スクリーンセーバーのタイマー起動でデジタルズームモードが終了します。
- 電源を「切」にした場合には、強制終了します。
 - ・ 本体の電源スイッチを「切」にしたとき
 - ・ オフタイマーやタイマー設定で電源が「切」になったとき
 - ・ 無信号自動オフやDPMS機能などで電源が「切」になったときなど

お知らせ

- 下記の場合は、デジタルズームモードにはなりません。
 - ・ 2画面表示のとき
 - ・ スクリーンセーバー（色反転を除く）起動中のとき
 - ・ メモリービューワーのサムネイル画面とファイルリスト画面を表示しているとき
- 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。

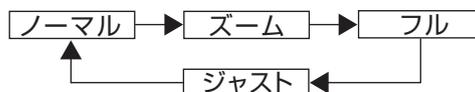
映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)



ASPECT または を押すごとに切り換わります。

画面モードの詳細な説明については、70ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

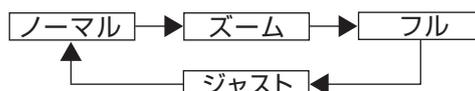
●ビデオ (Sビデオ) 信号のとき



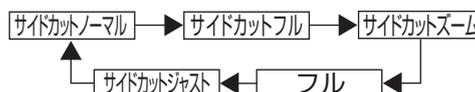
●パソコン信号のとき



●SD信号 (525 (480) / 60i・60p、625 (575) / 50i・50p) のとき

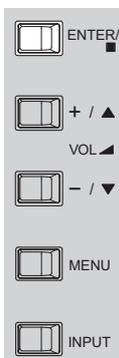


●HD信号 (1125 (1080) / 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24psF、750 (720) / 60p・50p、1250 (1080) / 50i) のとき



●次の入力を選んでいる時は「フル」固定となり、切り換えできません。
Miracast(TM)、MEMORY VIEWER

本体右側面部



お知らせ

- 画面モードは入力端子ごとに記憶します。
- 2入力の端子ボード装着時は、各入力 (A/B) ごとに記憶します。

映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)

■全画面モード (All Aspect)

オプションメニューの「All Aspect」を「On」に設定すると (P. 69ページ)、より幅広い拡大画面の切り換えができます。全画面モードにすると、拡大画面は次のように切り換わります。画面モードの詳細な説明については、70ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

- ビデオ (Sビデオ) 信号入力時のとき



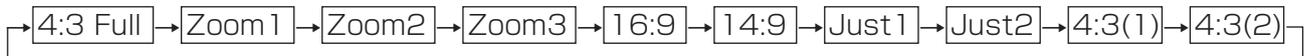
- パソコン信号のとき



- SD信号 (525 (480) / 60i・60p、625 (575) / 50i・50p) のとき



- HD信号 (1125 (1080) / 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24psF、750 (720) / 60p・50p、1250 (1080) / 50i) のとき



お知らせ

- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上の権利を侵害するおそれがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。
- ワイド映像でない従来 (通常) の4:3の映像をズーム・ジャスト・フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

2画面で表示する

ビデオ映像とパソコン画像などを2画面で表示します。

- お知らせ**
- 「Input lock」が「Off」以外に設定されていると2画面にはなりません。
 - Dual Link HD-SDI端子ボード (TY-FB11DHD) で受像した2k1k信号は2画面では表示できません。

2画面設定

2画面表示の機能は、初期設定 (SET UP) の「2画面設定」で設定します。(50ページ)

2画面モード

2つの入力画像を組み合わせて表示します。



主画面の入力
副画面の入力

次の4系統の入力を組み合わせます。

- A Panasonic APPLICATION
- B SLOT INPUT
- C HDMI1/HDMI2/DVI/DIGITAL LINK/COMPONENT/PC
- D VIDEO

お知らせ

HDMI1—DVIなど、同系統の入力の組み合わせで2画面表示はできません。

- お知らせ** SD信号の映像は、副画面にはアスペクト4:3で表示されます。

2画面で表示する

「2画面設定」で「2画面」を「オン」に設定する (50ページ)

2画面に切り換わります。

FUNCTIONボタンで操作する

FUNCTION 1 2 → 「2画面」のオン/オフが切り換わります。

FUNCTION 1 2 → 「2画面設定」メニューを表示します。

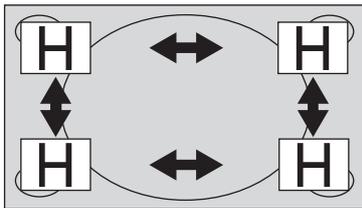
お知らせ

FUNCTIONボタンの機能は「ファンクション設定」で設定してください。(59ページ)

副画面の位置を切り換える



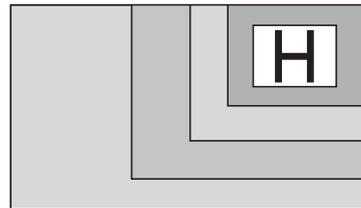
押して副画面の位置を切り換えます。



副画面の大きさを切り換える



押すごとに副画面の大きさが切り換わります。



- お知らせ** 「2画面設定」の「副画面サイズ」や「副画面位置」でも同様の切り換えができます。(50ページ)

メモリービューワー機能

メモリービューワーは、ディスプレイ本体へ USB メモリーを挿入することで、USB メモリー内に保存された静止画や動画を表示する機能です。

メモリービューワー機能で再生できる画像

以下の画像を再生できます。

静止画	拡張子	フォーマット
	jpg/jpeg	最大解像度：8000 × 8000
	bmp	最大解像度：8000 × 8000 1、4、8、16、24、32 bit 対応

動画	拡張子	ビデオコーデック	オーディオコーデック	映像フォーマット	音声フォーマット
	mov	H.264/AVC Motion Jpeg	AAC リニア PCM	最大：1920 × 1080/30fps	最大：48kHz 2ch (リニア PCM の場 合は 16kHz ステ レオまで)
	avi	H.264/AVC MotionJpeg Mpeg4	mp3 AAC リニア PCM		
	mp4	H.264/AVC Mpeg4	AAC Mpeg4 AAC-LC		
	mpg/mpeg	Mpeg2	Mpeg1 Layer2		
	wmv	WMV9	WMA		

お知らせ

- 1 ファイルの最大サイズは、2GB までです。
- ファイル / フォルダの最大数：1000 個までです。超えた場合は、エラー表示を行いフォルダ内は表示されません。
- デジタル著作権管理（DRM）で保護されたファイルは再生できません。
- 動画ファイルのレジューム情報を保持可能ファイル数は、50 個までです。50 個以降のファイルを再生した場合は、古い情報から順番に廃棄されます。
- レジューム機能の精度として、ファイル再生を停止した位置から正確に再生できないことがあります。
- 記載されている対応フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。

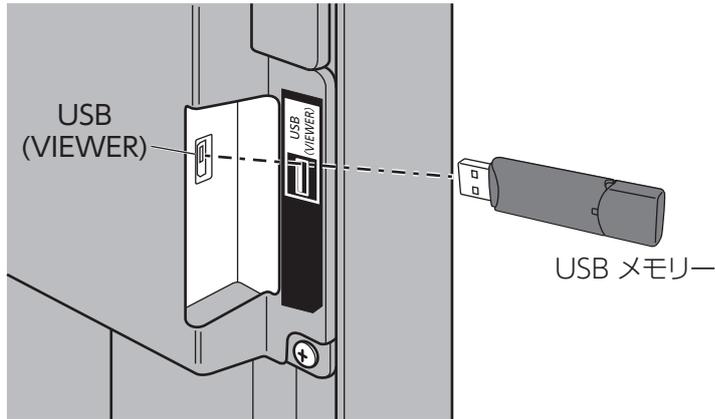
対応デバイスについて

市販の USB メモリーに対応しています。（セキュリティ機能がついたものは非対応）
FAT16 または FAT32 でフォーマットしたもの以外は使用できません。

メモリービューワー機能

USB メモリーを挿入する

ディスプレイ側面の USB (VIEWER) 端子に USB メモリーを挿入します。



お願い

- USB メモリーを挿入する際は、プラグの方向を確認して、端子を傷めないように注意してください。
- USB メモリーを取り出すときは以下の点に注意してください。
 - ・ 挿入した USB メモリーのモニターが点滅しているときは、ディスプレイがデータを読み出していることを示します。点滅中は USB メモリーを取り出さないでください。
 - ・ USB メモリーがインジケータなどのモニター機能がない場合は、データの読み出し状況が把握できません。そのため、メモリービューワーを閉じるか、またはディスプレイの電源を切ってから、取り出してください。
 - ・ USB メモリーの挿入と取り出しを頻繁に繰り返すことはお止めください。挿入してから少なくとも 5 秒待ってから、USB メモリーを取り出し、再び挿入する場合は、少なくとも 5 秒待ってから、挿入してください。ディスプレイが、USB メモリーの挿入と取り出しの切り換わりを認識できるように、ある程度の時間を置く必要があります。

USB メモリーの取扱いと保管に関する注意事項

- USB メモリーを幼い子供の手が届く場所に保管しない。誤って口に入れると窒息するおそれがあります。
- 発煙や異臭を察知した場合は、装置から取り出して、製造元に連絡してください。
- USB メモリーに水、薬品、石油製品などをこぼさない。短絡または火災の原因になります。
- USB 端子部分に異物や金属品を入れない。静電気による保存データの損失または破壊の原因になります。
- USB メモリーがデータを読み出していたり、書き込んでいる間は、コンピューターやディスプレイから無理に取り出さないでください。データの損失または破壊の原因になります。
- 高温多湿、粉塵、磁場を避けて、USB メモリーを保管してください。

お知らせ

- USB メモリー内のデータにアクセスしているときに、電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、保存されているデータが壊れることがあります。データにアクセスしている間は、USB メモリーが点滅します。
- USB メモリーは、ディスプレイの電源が入っているときでも切れているときでも、挿入したり、取り出したりできます。

メモリービューワー機能

メモリービューワー画面を表示する

リモコン操作

INPUT  を押して入力を MEMORY VIEWER に切り換えます。

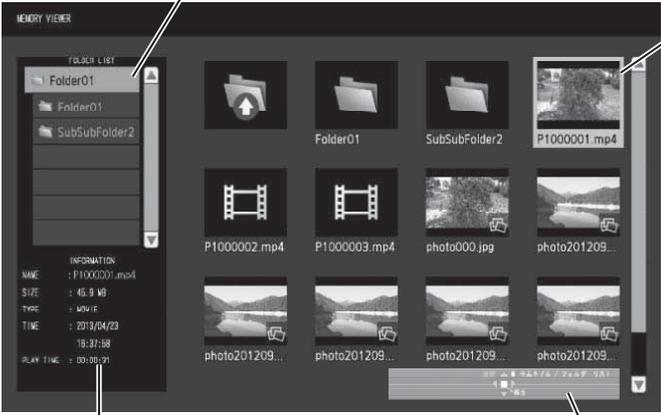
FUNCTION ボタンの機能を「INPUT (MEMORY VIEWER)」に設定するとワンタッチで入力が MEMORY VIEWER に切り換わります。(☞ 59 ページ)

サムネイルまたはファイルリストが表示されます。

サムネイルとファイルリストの表示切り換えは「初期設定」 - 「メモリービューワー設定」で設定します。(☞ 51 ページ)

サムネイル画面

フォルダーリスト



サムネイル
フォルダー内のフォルダー、静止画、または動画を表示します。
次のアイコンが表示されます。

-  選択すると上位階層へ移動します。
-  選択すると下位階層へ移動します。
-  静止画ファイルです。
-  動画ファイルです。
-  対応している拡張子ですが、再生できないファイルです。

リモコン操作ガイド

選択されているファイルの情報を表示します。

ファイルリスト画面

フォルダーリスト



ファイルリスト
フォルダー内のフォルダー、静止画、または動画の情報を表示します。

NAME	SIZE	TYPE	TIME
Folder01	FOLDER		
SubSubFolder2	FOLDER		
P1000001.mp4	45.9 MB	MOVIE	2013/04/23 15:37:58
P1000002.mp4	45.9 MB	MOVIE	2013/04/23 15:37:58
P1000003.mp4	45.9 MB	MOVIE	2013/04/23 15:37:58
photo000.jpg	800.5 KB	IMAGE	2013/12/18 11:59:12
photo20120907.jpg	14.1 KB	IMAGE	2013/12/18 11:42:44
photo20120910.jpg	14.1 KB	IMAGE	2013/12/18 11:42:44

リモコン操作ガイド

選択されているファイルのプレビューを表示します。

メモリービューワーを終了する

メモリービューワーを終了後、USB メモリーを抜きます。

静止画を再生する



- 1 フォルダーリスト
▲▼でフォルダーを選択します。
選択したフォルダーが開きます。

- 2 サムネイル / ファイルリスト
▲▼◀▶で再生したいファイルを選択します。
Rを押すとフォルダーリストに戻ります。

- 3 ■を押します。
全画面に静止画が表示されます。



リモコン操作ガイド

リモコンボタンを押して次の操作ができます。

- ◀ 前のファイルへ移動
- ▶ 次のファイルへ移動
- ▲ 画像の右回転 (90°)
- ▼ 画像の左回転 (90°)
- 自動再生の一時停止 / 再生再開
- R サムネイル / ファイルリスト画面に戻る

「自動再生」が「オン」のとき

同一フォルダー内のすべての静止画が自動再生されます。

自動再生中に■を押すと一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

自動再生中に◀を押すと前の画像から、▶を押すと次の画像から自動再生を続けます。

自動再生間隔や画面切り換わり効果は「初期設定」-「メモリービューワー設定」で設定します。(P.51 ページ)

- 4 Rを押します。
サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

メモリービューワー機能

動画を再生する

ファイルの選び方は「静止画を再生する」と同じです。(☞ 35 ページ)

- 1 **フォルダーリスト**
▲▼でフォルダーを選択します。
選択したフォルダーが開きます。
- 2 **サムネイル／ファイルリスト**
▲▼◀▶で再生したいファイルを選択します。
R
○を押すとフォルダーリストに戻ります。
- 3 **■を押します。**
全画面に動画が表示されます。



早送り／巻き戻し／一時停止の表示

リモコン操作ガイド

リモコンボタンを押して次の操作ができます。

- ◀ 巻き戻し (3 段階)
前のファイルへ移動 (一時停止中)
- ▶ 早送り (3 段階)
次のファイルへ移動 (一時停止中)
- ▲ 頭出し
- 一時停止／再生再開
- R
○ サムネイル／ファイルリスト画面に戻る

タイムバー

再生中に ◀ を押すと巻き戻し、▶ を押すと早送りをを行います。ボタンを押すたびに、早さが 3 段階で変わります。

「自動再生」が「オン」のとき

同一フォルダー内のすべての動画が自動再生されます。
最後のファイルの再生が終わると再び最初のファイルから再生します。

- 4 **R
○を押します。**
サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

レジューム再生

再生途中で停止した動画を次回再生すると、前回停止した位置から再生します。



お知らせ

- レジューム機能は「自動再生」が「オフ」のときに有効です。(☞ 51 ページ)
- レジューム再生位置は本機の電源を切るか USB メモリーを抜くまで保持されます。また、レジューム再生位置は 50 ファイルまで保持できます。

Miracast(TM) を使う

スマートフォンやタブレット端末に表示されている映像をディスプレイに伝送して表示する機能です。

1 入力を Miracast(TM) に切り換えます。

[Miracast(TM)] 画面に切り換わり、待ち受け画面が表示されます。

2 Miracast 対応端末、パソコンから Miracast アプリケーションを起動する

ディスプレイに表示されている機器名と接続してください。

Miracast アプリケーションの名前や起動方法は、端末の機種により異なります。

Miracast アプリケーションの操作については、お使いの端末に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 接続端末認証画面で「OK」を選択する

接続した端末の映像が表示されます。

お知らせ

- 本機能は Miracast 対応 Android 端末および WiDi 対応パソコンに対応しています。
- 「ネットワーク設定」の「無線 LAN」を「オフ」に設定している場合は、Miracast 機能も無効になります。
- [ディスプレイ名] にスペースを使用した場合、端末の機種によってはスペース以降の文字が表示されないことがあります。
- Miracast 接続でお困りの場合は、75 ページ「Miracast をご使用のとき」をご覧ください。

オンスクリーンメニューについて

リモコン

本体

1 メニュー画面を表示する



押して選ぶ
(例：画質の調整メニュー)

ENTER ② 押す。

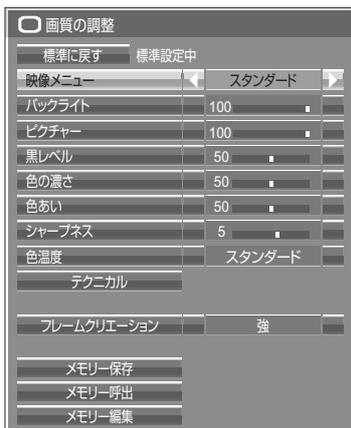
+ / ▲

VOL ▲

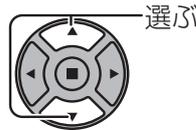
- / ▼

MENU ① 数回押す。

2 設定項目を選択する



(例：画質の調整メニュー)



ENTER ② 押す。

+ / ▲

VOL ▲

- / ▼

① 選ぶ。

3 設定する



ENTER ② 押す。

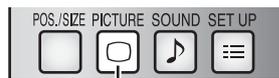
+ / ▲

VOL ▲

- / ▼

① 設定する。

4 設定を終了する



押す

Ⓡ を押すと1つ前の画面に戻ります。

+ / ▲

VOL ▲

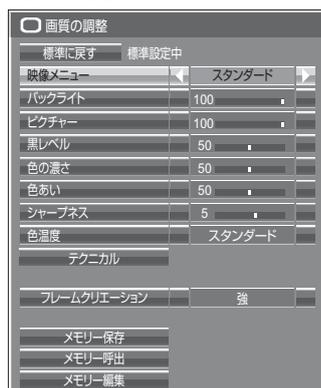
- / ▼

MENU 数回押す。

メニュー画面一覧

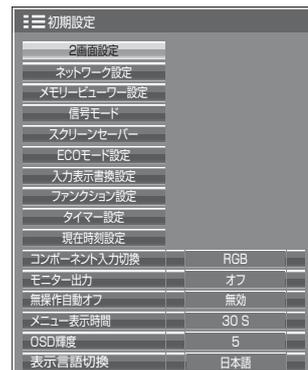
- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

画質の調整



📖 44~48ページ

初期設定



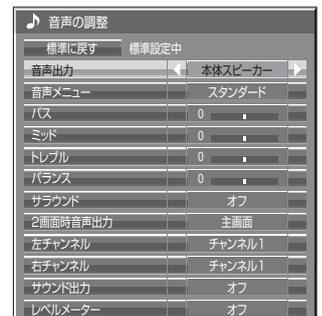
📖 49~62ページ

画面位置／サイズ



📖 39~41ページ

音声の調整



📖 42・43ページ

画面位置 / サイズの調整 (POS./SIZE)

1  押して「画面位置/サイズ」メニュー画面を表示する。

2  押して設定項目を選択する。

3  押して設定をする。

4  押して設定を終了する。
 を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「画面位置/サイズ」メニュー画面

画面位置/サイズ	
標準に戻す	標準設定中
自動位置補正	
 水平位置	0
 水平サイズ	0
 垂直位置	0
 垂直サイズ	0
ドットクロック	0
クロック位相	0
クランプ位置	0
1:1ピクセルモード	オフ

お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す  

メニュー表示中に  を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに  を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

お知らせ 2画面表示で画面位置/サイズの調整はできません。

自動位置補正

パソコン信号入力時などに「水平/垂直位置」、「水平/垂直サイズ」、「ドットクロック」、「クロック位相」を自動補正します。

本設定は以下の条件で動作します。

- ・アナログ信号（コンポーネント/PC）入力時：
パソコンフォーマットの信号で、初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」（ 61ページ）が「RGB」のときに本設定が有効になります。
- ・デジタル信号（HDMI/DVI）入力時：
パソコンフォーマットの信号のときに本設定が有効になります。
パソコンフォーマットの信号でない場合、「オーバースキャン」（ 40ページ）が「オフ」または「1:1ピクセルモード」（ 41ページ）が「オン」のときに本設定が有効になります。「水平/垂直サイズ」は自動補正しません。

また、次の場合には本設定は無効になり、動作しません

- ・下記の入力選ばれているとき
Miracast(TM)、MEMORY VIEWER、Panasonic APPLICATION
- ・ビデオ信号のとき
- ・2画面またはデジタルズーム時
- ・画面モードが「ジャスト」や「サイドカットジャスト」のとき
- ・Optionsメニューの「Display size」（ 68ページ）を「On」に設定しているとき

対応する信号の映像を表示中に

「自動位置補正」を選び、（）を押す。

リモコンで操作する



AUTO SETUP  を押すと自動位置補正が動作します。

自動位置補正が無効の場合は「無効操作」と表示します。

■Autoモード

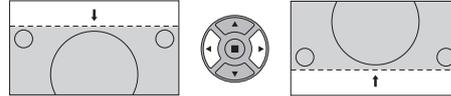
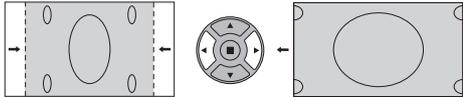
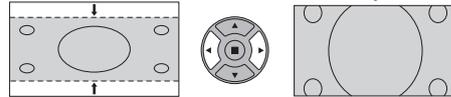
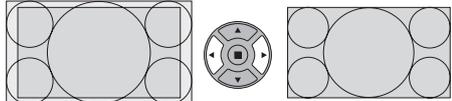
Optionsメニューの「Auto Setup」を「Auto」に設定すると、次の場合に自動位置補正が動作します。（ 69ページ）

- ・ディスプレイの電源を「入」にしたとき
- ・入力信号が切り換わったとき

画面位置 / サイズの調整 (POS./SIZE)

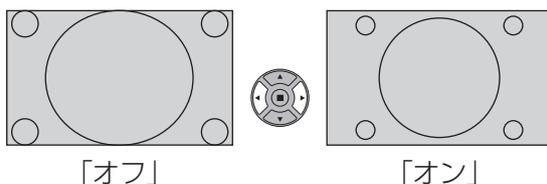
- お知らせ**
- アナログ信号でドットクロック162 MHz以上の信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
 - デジタル信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
 - 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をしてください。
 - 信号によっては自動位置補正後にもズレが生じる場合がありますので、必要に応じて位置/サイズなどの微調整を行ってください。
 - 垂直周波数60Hz XGA信号 (1024×768@60Hz, 1280×768@60Hz, 1366×768@60Hz) で自動位置補正が最適にならない場合、あらかじめ「XGAモード」(☞53ページ) で個別信号を選択設定しておく、適切に自動位置補正できる場合があります。
 - 有効映像期間外に付加情報などの信号が重畳されている場合や同期信号と映像信号の時間間隔が短い場合、あるいは、3値同期信号が付加された映像信号などには自動位置補正はうまく動作しません。

- お願い**
- 自動位置補正で適切な調整にならない場合は、一度「標準に戻す」を選び、 を押した後、手動で位置/サイズなどの調整を行ってください。

水平位置	画面を左右に移動します。 	垂直位置	画面を上下に移動します。 
水平サイズ	画面を左右に拡大/縮小します。 	垂直サイズ	画面を上下に拡大/縮小します。 
ドットクロック (コンポーネント/PC入力時)	縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様 (ノイズ) が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。		
クロック位相 (コンポーネント/PC入力時)	RGB信号やパソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっとも見やすくなるよう調整してください。		
クランプ位置 (コンポーネント/PC入力時)	映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合にクランプ位置を調整します。 クランプ位置調整の最適値 黒部分がつぶれている場合 →黒部分のつぶれがもっとも改善する値が最適値です。 黒部分が緑色になっている場合 →緑色部分が黒くなりつぶれていない値が最適値です。		
オーバースキャン	画像のオーバースキャンをオン/オフします。 設定が可能な信号は以下の通りです。 525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p (コンポーネント (色差) ビデオ、RGB、DVI、SDI、HDMI)  <p>「オン」 「オフ」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「オフ」に設定した場合は、水平サイズと垂直サイズは調整できません。 ● Optionsメニューの「Display size」が「On」のとき、本設定は無効になります。(☞ 68ページ) 		

1:1 ピクセルモード

1125i、1125pや1250iのとき、画面サイズを調整します。



対応する入力信号

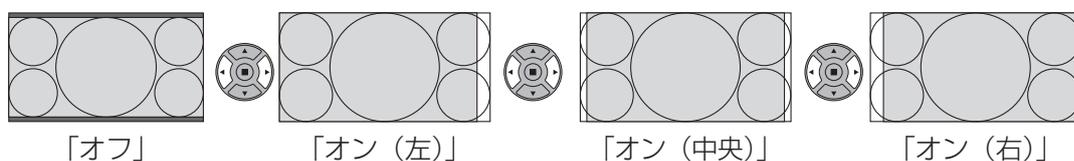
1125 (1080) /50i, 60i, 24psF, 24p, 25p, 30p, 50p, 60p, 1250 (1080) /50i

- 映像の周囲にノイズ状のものが見えるときは「オフ」設定にしてください。
- 「オン」に設定の場合は、水平サイズ、垂直サイズは調整できません。

1:1 ピクセルモード (2k1k)

(2k1k信号の場合)

入力信号が2k1k信号 (2048×1080/24p, 2048×1080/24psF) のとき、画面サイズは次のように調整されます。



お知らせ 2k1k信号は、Dual Link HD-SDI端子ボード (TY-FB11DHD) 装着時のみ受像可能となります。

お知らせ 調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。

音声の調整 (SOUND)

1  押して「音声の調整」メニュー画面を表示する。

2  押して設定項目を選択する。

3  押して設定する。

4  押して設定を終了する。
 を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「音声の調整」メニュー画面

音声の調整	
標準に戻す	標準設定中
音声出力	本体スピーカー
音声メニュー	スタンダード
バス	0
ミッド	0
トレブル	0
バランス	0
サラウンド	オフ
2画面時音声出力	主画面

標準に戻す

標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に  を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに  を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

■ 音声出力

音声出力を選びます。

本体スピーカー：内蔵スピーカー
 外部出力：外部スピーカー

■ 音声メニュー

最適な音質を選びます。

スタンダード：送られてくるそのままの音で聞きます。
 ダイナミック：メリハリ感を強調した音で聞きます。
 クリア：人の声を聞きやすくした音で聞きます。

■ バス／ミッド／トレブル／バランス

バス：低音を調節します。
 ミッド：中音域を調節します。
 トレブル：高音を調節します。
 バランス：左右の音量を調節します。

●バス、ミッド、トレブル、サラウンドは「音声メニュー」の「スタンダード」、「ダイナミック」、「クリア」ごとに記憶します。

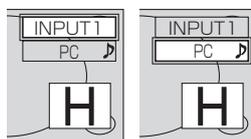
■ サラウンド

オフ：通常の音声。
 オン：臨場感のある音声。

■ 2画面時音声出力

2画面のとき聞きたい画面の音声を選びます。

主画面 ● 2画面時音声出力は
 副画面 ・選んだ出力設定に対して入力信号表示の右側に「♪」が表示されます。



SDI音声出力

本メニューは、下記の端子ボードが装着されているスロットを選択しているときのみ設定できます。
HD-SDI端子ボード（音声対応）（TY-FB10HD）、Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）

左チャンネル	チャンネル1
右チャンネル	チャンネル1
サウンド出力	オフ
レベルメーター	オフ

- 左チャンネル** **チャンネル1 ~ 16** 左チャンネルの音声チャンネルを選択します。
- 右チャンネル** **チャンネル1 ~ 16** 右チャンネルの音声チャンネルを選択します。
- サウンド出力** **オフ**：SDI音声を出力しません。
 オン：SDI音声を出力します。
- レベルメーター** **オフ** ディスプレイに表示する音声レベルメーターの音声チャンネルを設定しま
 1-8ch す。音声レベルメーターは、ディスプレイの左右に4チャンネルずつ、計8
 9-16ch チャンネル表示します。「オフ」にすると音声レベルメーターを表示しません。

お知らせ 2画面表示中はSDI音声出力の設定はできません。

画質の調整 (PICTURE)

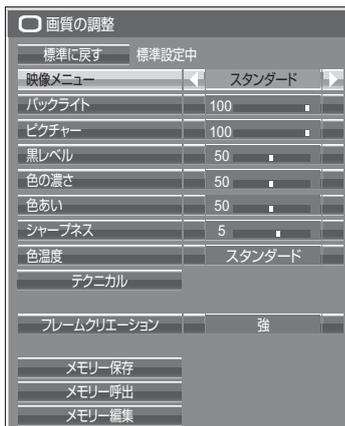
1  — 押して「画質の調整」メニュー画面を表示する。

2  — 押して設定項目を選択する。

3  — 押して設定する。

4  — 押して設定を終了する。
 を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「画質の調整」メニュー画面



お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す（「フレームクリエーション」を除く）



メニュー表示中に  を押す、または「標準に戻す」を選んでいいるときに  を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

■ 映像メニュー

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。

スタンダード：標準的な明るさで使用する場合に適した画像になります。

ダイナミック：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。

シネマ：明るさを抑え、階調性を重視した画像になります。

■ バックライト

バックライトの明るさを調整します。

暗く  明るく

■ ピクチャー

映像の明暗度を調整します。

暗く  明るく

お知らせ

- 「映像メニュー」は入力端子ごとに記憶します。2入力の端子ボード装着時は、各入力 (A/B) ごとに記憶します。
- 「バックライト」は、「ECOモード」が「カスタム」で、「消費電力低減設定」が「オフ」のときに調整できます。(P.57ページ)

■ 黒レベル

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

暗く  明るく

■ 色の濃さ

淡く  濃く

■ 色あい

肌色部分の色あいを調整します。

赤紫色がかかった色に  緑色がかかった色に

■ シャープネス

映像輪郭の鮮明度を調整します。

ソフト  シャープ

■色温度

画面の色調を切り換えます。

- 低：赤みがかった色になります。(6500K)
- 中：中間の色温度になります。(9300K)
- 高：青みがかった色になります。(11500K)

■フレームクリエーション

映像の表示コマ数を2倍にして動きの速いシーンをよりきれいに見せる機能です。

オフ：映像が不自然なときは「オフ」を選んでください。

弱
中
強

お知らせ

- 設定は、入力端子ごとに記憶しています。
- 「標準に戻す」を選んでも標準の設定には戻りません。
- オフに変更した場合とオフから他の設定に変更した場合に映像とメニューが一瞬消えます。

テクニカル調整

お好みにより、さらにきめ細かな調整を行うことができます。



● を押す



●「テクニカル」サブメニュー画面



お知らせ

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。
- 2画面表示中はテクニカル調整はできません。

標準に戻す

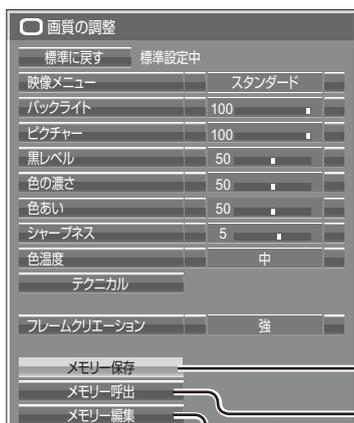
標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に  を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに  を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

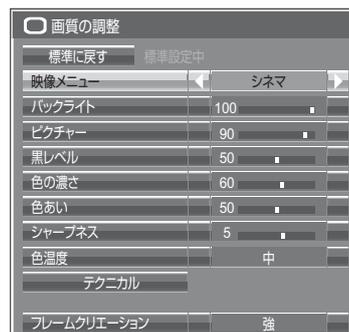
調整項目	調整範囲	調整内容
入力レベル	-32 (レベル低) ~ +32 (レベル高)	特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。
ガンマ	Sカーブ 2.0 2.2 2.6	明るさ感を調整します。
Rドライブ	0 (色温度高) ~ 100 (色温度低)	赤色の明るい部分の強弱を調整します。
Gドライブ	0 ~ 100	緑色の明るい部分の強弱を調整します。
Bドライブ	0 (色温度低) ~ 100 (色温度高)	青色の明るい部分の強弱を調整します。
Rカットオフ	0 (色温度高) ~ 100 (色温度低)	赤色の暗い部分の強弱を調整します。
Gカットオフ	0 ~ 100	緑色の暗い部分の強弱を調整します。
Bカットオフ	0 (色温度低) ~ 100 (色温度高)	青色の暗い部分の強弱を調整します。

メモリー機能を使う

8通りの映像調整値（「画質の調整」メニューと「テクニカル」）をメモリーに保存し、必要なときに呼び出してお気に入りの映像をお楽しみいただけます。

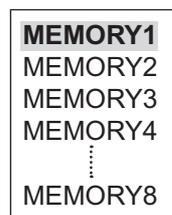
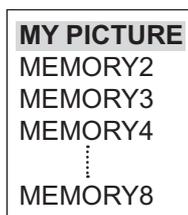


- メモリー保存 (☞ 47ページ)
- メモリー呼出し (☞ 48ページ)
- メモリー編集 (☞ 48ページ)



メモリー保存 ↓ 映像調整値を MEMORY1に保存する

メモリー編集
削除、名前の変更

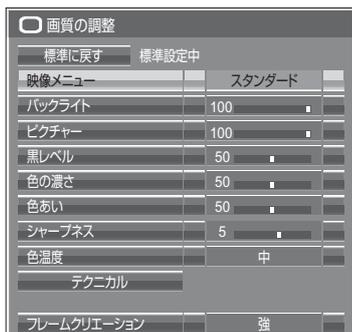


メモリー呼出し ↓ MEMORY1を呼び出す

オリジナル映像



カスタム映像



メモリーに保存する

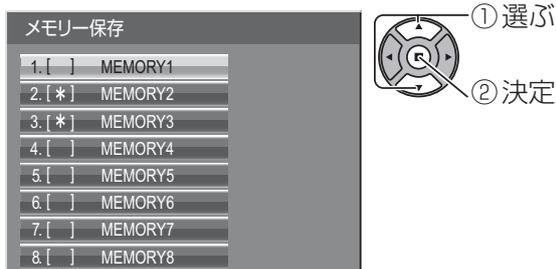
映像調整値をメモリーに保存します。

1 「画質の調整」メニューと「テクニカル」で、画質を設定する。(P. 44・45ページ)

2 「画質の調整」メニューで「メモリー保存」を選ぶ。

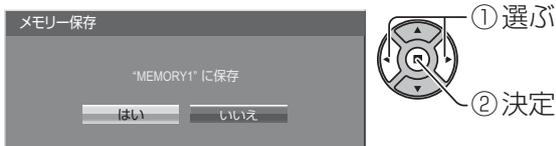


3 映像調整値を保存するメモリー名を選ぶ。



すでに映像調整値が保存されているメモリーには「*」が表示されます。

4 「はい」を選ぶ。



5 メモリー名を入力する。

[メモリー名の入力方法]

メモリー名は最大40文字まで設定できます。画面上に表示されたキーボードで文字を選んで文字を入力します。

文字入力ボックスには、すでにメモリー名が入力されています。必要に応じてメモリー名を変更してください。



例：「MY PICTURE」に設定する

① 「全削除」を選ぶ。



文字が全て削除されます。

文字を1文字削除するには「1文字削除」を選びます。

② 「M」を選ぶ。



この操作を繰り返し、文字を入力します。

③ 「Y」を選ぶ。



④ 「空白」を選ぶ。



6 メモリー名の入力が終わったら「確定」を選ぶ。「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。



メモリー機能を使う

メモリーを呼び出す

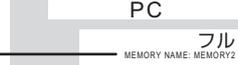
メモリーを呼び出し、ディスプレイに映像調整値を適用します。

お知らせ 呼び出したメモリーは選択されている入力端子ごとに記憶されます。(P.26ページ)

- 1 「画質の調整」メニューで「メモリー呼出」を選ぶ。
- 2 呼び出すメモリーを選ぶ。



メモリーを呼び出しているときはメモリー名を表示します。



メモリーを編集する

メモリーを削除またはメモリー名を変更します。

■メモリーを削除する

- 1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。



- 2 「メモリー削除」を選ぶ。



- 3 削除するメモリーを選ぶ。
全てのメモリーを削除するには「メモリー全削除」を選びます。



- 4 「はい」を選ぶ。



■メモリー名を変更する

- 1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。



- 2 「メモリー名変更」を選ぶ。



- 3 名前を変更するメモリーを選ぶ。



- 4 メモリー名を入力する。
メモリー名の入力方法
P.47ページ



- 5 メモリー名の入力が終わったら「確定」を選ぶ。

「キャンセル」を選ぶとメモリー名の変更をキャンセルします。



初期設定 (SET UP)

1  — 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

2  — 押して設定項目を選択する。

3  — 押して設定する。

4  — 押して設定を終了する。

 を押すと1つ前の画面に戻ります。

● 初期設定メニュー画面

初期設定	
2画面設定	50ページ
ネットワーク設定	
メモリービューワー設定	51ページ
信号モード	52ページ
スクリーンセーバー	55ページ
ECOモード設定	57ページ
入力表示書換設定	58ページ
ファンクション設定	59ページ
タイマー設定	
現在時刻設定	60ページ
コンポーネント入力切換	RGB
モニター出力	オフ
無操作自動オフ	無効
メニュー表示時間	30 S
OSD輝度	5
表示言語切換	日本語

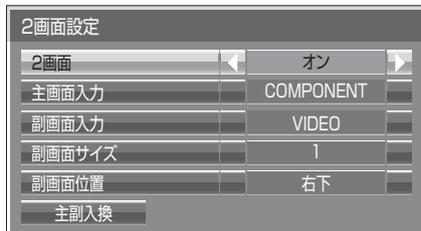
初期設定 (SET UP)

2画面設定

2画面表示機能を設定します。

2画面機能について  **2画面で表示する** (31ページ)

「初期設定」メニューで「2画面設定」を選んで  を押す。



■2画面

「オン」にするとディスプレイが2画面表示になります。「2画面モード」など、各種設定ができます。

■主画面入力

主画面の入力映像を設定します。

■副画面入力

副画面の入力映像を設定します。

■副画面サイズ

1 (小) ~ 4 (大) : 副画面の大きさを設定します。

■副画面位置

副画面の表示位置を設定します。

■主副入換

主画面と副画面を入れ替えます。

ネットワーク設定

コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。

PJLink・ネットワーク関連の詳細は、取扱説明書「ネットワーク操作編」をご覧ください。

メモリービューワー設定

メモリービューワー画面の表示方法や自動再生について設定します。

「初期設定」メニューで「メモリービューワー設定」を選んで  を押す。



● 「メモリービューワー設定」サブメニュー画面

メモリービューワー設定	
表示切替	サムネイル
ファイル表示ソート	ファイル名
自動再生	オン
自動再生間隔	5 S
画面切り換わり効果	ワイブレフト
ガイド表示	オン

■ 表示切替

サムネイル表示とリスト表示を切り換えます。

■ ファイル表示ソート

ファイル名／日時／種類：サムネイルまたはリストのファイルをソートする順番を設定します。

■ 自動再生

静止画または動画を自動再生する場合は「オン」に設定します。

■ 自動再生間隔

5 S ～ 120 S：静止画を自動再生する間隔を設定します。

■ 画面切り換わり効果

自動再生で画面が切り換わるときの効果を設定します。

■ ガイド表示

リモコン操作ガイド表示のオン／オフを設定します。

初期設定 (SET UP)

信号モード

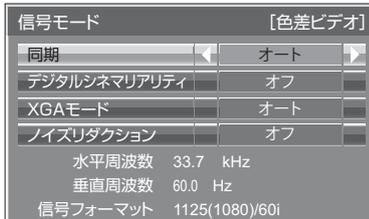
「初期設定」メニューで「信号モード」を選んで  を押す。



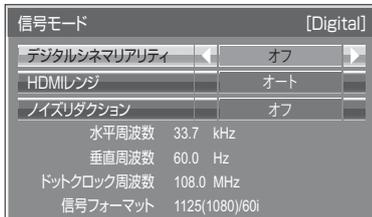
● 「信号モード」サブメニュー画面 ビデオ(Sビデオ)入力時



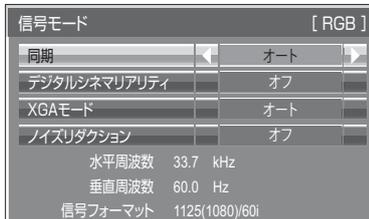
コンポーネント(色差) ビデオ信号入力時



デジタル信号入力時



RGB / パソコン信号入力時



- お知らせ**
- 入力される信号によっては別売オプション端子ボードが必要になります。
 - 「信号モード」設定メニューは入力信号によって異なります。

■ 3次元 Y/C (NTSC)

本メニューは、デュアルビデオ端子 (BNC) ボード (TY-FB9BD) が装着されている場合に表示されます。
ビデオまたはSビデオ信号入力時、動いている映像が不自然に見えるときに設定します。
通常は「オン」でご覧ください。

- お知らせ** NTSC方式の映像を映しているときに有効です。

■ カラーシステム

ビデオまたはSビデオ信号入力時、信号方式が合わず正常な映像にならない場合に方式選択します。

- 通常は「オート」に設定します。入力された信号の方式を自動的に判別します。
- 入力信号が劣化してノイズが多い、または信号レベルが低いときに「オート」に設定すると正常に表示されない場合があります。そのときは入力信号の方式に合わせて設定してください。

信号方式	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)	色副搬送波 (MHz)
NTSC	15.73	59.94	3.58
PAL	15.63	50.00	4.43
PAL60*	15.73	59.94	4.43
SECAM	15.63	50.00	4.25 または 4.41
M.NTSC	15.73	59.94	4.43

*PAL60の映像をご覧になるときは「オート」または「PAL」を選択してください。

■ デジタルシネマリアリティ

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。

※ 通常は「オフ」に設定してください。

- お知らせ**
- デジタルシネマリアリティを「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。
 - 「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。
 - ビデオ(Sビデオ)入力時、NTSCおよびPAL信号に効果があります。
 - コンポーネント(色差)ビデオ入力時、525i(480i)、1125(1080)/60i、625i(575i)信号に効果があります。

■ XGAモード

本メニューは、アナログ信号(コンポーネント/PC)入力時に表示されます。

本機は、画角/サンプリングが異なる3種類の垂直周波数60Hz XGA信号(1024×768@60Hz、1280×768@60Hz、1366×768@60Hz)に対応しています。

オート：1024×768/1280×768/1366×768の中から自動選択します。画角や解像度の表示状態によっては、より適切で見やすい表示になるように、入力信号に合わせて設定を切り換えてください。

- お知らせ** 本設定を行った後は、必要に応じて「画面位置/サイズ」メニューの各調整(「自動位置補正」など)を行ってください。(P.39ページ)

■ ノイズリダクション

以下の3種類のNR(ノイズリダクション)機能をまとめて設定します。

NR、モスキートNR、ブロックNR

- オフ** : ノイズリダクションが無効になります。
弱 : ノイズリダクションの強弱を設定します。
中
強

アドバンスト：下記のアドバンスト調整ができます。アドバンスト調整が映像に反映されます。

- お知らせ** パソコン信号入力の際は「ノイズリダクション」がグレー表示になり設定できません。

アドバンスト調整

3つのNR機能を個別に設定します。

「アドバンストNR」サブメニュー画面

ノイズリダクション	アドバンスト
NR	オフ
モスキートNR	オフ
ブロックNR	オフ

……オフ、弱、中、強の中から選びます。

NR : 映像のざらつき感を少なくします。

モスキートNR：MPEG映像の文字部分の周辺に現れるモスキートノイズを軽減します。

ブロックNR：MPEG映像の動画部分に現れるブロックノイズを軽減します。

初期設定 (SET UP)

■同期

本機能はPC IN入力時に動作します。

●RGB / パソコン信号入力時

オート：HD/VD入力/SYNC ON Gが自動で切り換わります。

HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期がある場合はHD/VD入力が優先されます。CS信号を接続する場合は、HD入力端子に接続してください。

ON G：HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期が入る場合で、SYNC ON Gで同期を取りたい場合に選択します。

●コンポーネント（色差）ビデオ信号入力時

オート：HD/VD入力/SYNC ON Yが自動で切り換わります。

HD/VD入力/SYNC ON Y両方に同期がある場合はHD/VD入力が優先されます。CS信号を接続する場合は、HD入力端子に接続してください。

ON Y：HD/VD入力/SYNC ON Y両方に同期が入る場合で、SYNC ON Yで同期を取りたい場合に選択します。

お知らせ COMPONENT/RGB IN端子に入力の信号はSYNC ON GまたはSYNC ON Yに対応しています。

■SDIスルー

本メニューはDual Link HD-SDI端子ボード (TY-FB11DHD) を装着したスロットを選択しているときのみ設定できます。Dual Link HD-SDI端子ボード (TY-FB11DHD) のアクティブスルー機能を設定します。

オフ：アクティブスルーが無効になります。

オン：アクティブスルーが有効になります。



■HDMIレンジ

HDMI端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。

ビデオ(16-325)：入力信号がビデオレンジの場合。例：DVDプレーヤーのHDMI端子出力

フル(0-255)：入力信号がフルレンジの場合。例：パソコンのHDMI端子出力

オート：入力信号に応じて自動的にダイナミックレンジを「ビデオ(16-235)」または「フル(0-255)」に切り換えます。

お知らせ ● 本機能は、HDMI信号入力のみを設定できます。
● DIGITAL LINK入力時は「オート」を選択できません。

■入力信号表示（コンポーネント、RGB/パソコン、デジタル信号入力時）

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	33.7 kHz
垂直周波数	60.0 Hz
信号フォーマット	1125(1080)/60i

……表示範囲：水平走査周波数 (15 kHz ~ 110 kHz)
垂直走査周波数 (48 Hz ~ 120 Hz)

DVI信号入力時には、ドットクロック周波数を表示します。

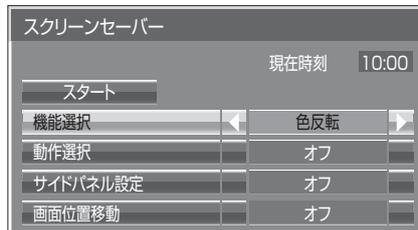
水平周波数	33.7 kHz
垂直周波数	60.0 Hz
ドットクロック周波数	108.0 MHz
信号フォーマット	1125(1080)/60i

スクリーンセーバー

静止画や4:3表示画像を長時間映す場合に残像（焼き付き現象）の発生を軽減します。

●「スクリーンセーバー」サブメニュー画面

「初期設定」メニューで「スクリーンセーバー」を選んで  を押す。



スクリーンセーバーの設定

■スクリーンセーバーの動作を設定する

「機能選択」で動作したい機能を選択します。

色反転：白黒反転した映像にして、画面の残像を軽減します。

白色バー：白色バーが一定間隔で画面の左から右側へスクロール表示します。映像はディスプレイに映りません。

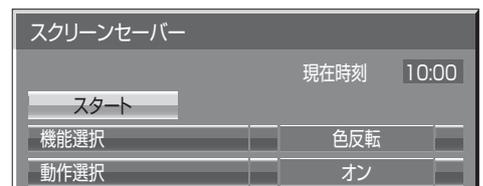
オーバーレイ白色バー：映像を暗くして、その上に白色バーがスクロール表示します。

全白表示：ディスプレイ全面に全白パターンを表示します。

お知らせ 2画面表示で「オーバーレイ白色バー」は動作しません。

■今すぐスクリーンセーバーをスタートする

- ①「動作選択」で「オン」を選ぶ。
- ②「スタート」を選んで  を押す。
スクリーンセーバーが開始します。



お知らせ ●スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。

リモコン： R 本体： MENU、 INPUT、 + / ▲、 - / ▼、 ENTER/

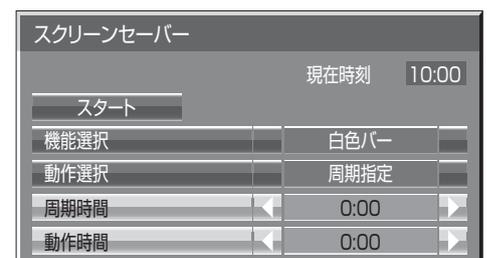
●ディスプレイの電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

■一定の周期ごとにスクリーンセーバーをオン／オフする

- ①「動作選択」で「周期指定」を選ぶ。
- ②「周期時間」を設定する。
押すたびに15分ずつ変わります。



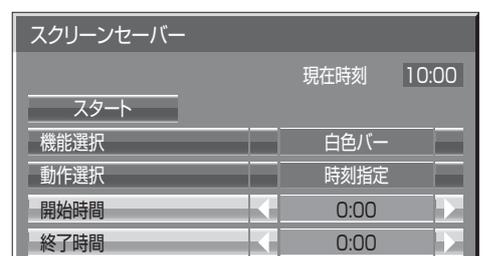
- ③「動作時間」を設定する。
一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。



お知らせ 動作時間は周期時間より長い時間には設定できません。

■指定した時刻にスクリーンセーバーをオン／オフする

- ①「動作選択」で「時刻指定」を選択する。
- ②「開始時間」と「終了時間」を設定する。
一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。



お知らせ 現在時刻を設定してから、開始時間と終了時間を設定してください。(P.60ページ)

初期設定 (SET UP)

■ スクリーンセーバーの後に電源を切る

- ① 「動作選択」で「自動電源オフ」を選択する。
- ② 「動作時間」を設定する。



一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

- ③ 「スタート」を選んで  を押す。

スクリーンセーバーが開始し、設定時間後に電源が「切」(スタンバイ)になります。



- お知らせ** 「動作時間」は0:00 ~ 23:59まで設定できます。「0:00」に設定したとき、「自動電源オフ」は動作しません。

サイドパネル設定

画面モードを「ノーマル」(映像の横縦比4:3)で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像(焼き付き現象)が発生します。サイドパネルを表示することで残像発生を軽減できます。

オフ: 両端を暗くしておく。

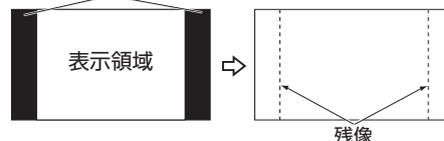
低: 暗めの灰色にする。

中: 灰色にする。

高: 明るめの灰色にする。

- お知らせ** 残像発生を軽減するため「高」にしてご覧になることをおすすめします。

暗い部分(サイドパネル)



画面位置移動

ディスプレイパネルの焼き付き軽減のため、一定の時間間隔で画面位置を移動させて表示します。

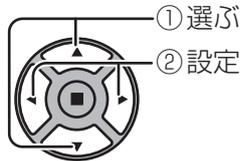
- お知らせ** 画面の設定状態により、画面の一部で欠けて見える場合があります。

ECOモード設定

消費電力を低減するための各種設定を行います。
「初期設定」メニューで「ECOモード設定」を選んで  を押す。

● 「ECOモード設定」サブメニュー画面

ECOモード設定	
ECOモード	カスタム
消費電力低減設定	オフ
HDMI1パワーマネージメント	オフ
HDMI2パワーマネージメント	オフ
PC/パワーマネージメント	オフ
DVI-Dパワーマネージメント	オフ
無信号自動オフ	無効



■ ECOモード

カスタム：消費電力低減のメニューを個別に設定します。
オン：消費電力低減のメニューを次の固定値に設定します。個別に設定はできません。
消費電力低減設定：オン
HDMI1パワーマネージメント：オン
HDMI2パワーマネージメント：オン
PCパワーマネージメント：オン
DVI-Dパワーマネージメント：オン
無信号自動オフ：有効

リモコンで操作する

ECO

 を押すと「ECOモード」が切り換わります。

ECOモード オン

■ カスタム設定

消費電力低減のメニューを個別に設定します。「ECOモード」が「カスタム」のとき、設定が有効になります。

消費電力低減設定

バックライトの明るさを調節して消費電力を低減します。

オフ：本機能は動作しません。

オン：バックライトの明るさを下げます。

センサー：視聴環境に応じてバックライトの明るさを自動調節します。

お知らせ 「オン」または「センサー」に設定した場合、「画質の調整」-「バックライト」の設定は無効になります。

HDMI1パワーマネージメント

HDMI2パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

HDMI1またはHDMI2入力時に約60秒間、映像（同期信号）が検知されないとき

→電源「切」（スタンバイ） 電源ランプ：橙色点灯

その後、映像（同期信号）が検知されると

→電源「入」 電源ランプ：緑色点灯

PCパワーマネージメント（DPMS機能）

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

PC IN入力時に約60秒間、映像（HD/VD同期信号）が検知されないとき

→電源「切」（スタンバイ） 電源ランプ：橙色点灯

その後、映像（HD/VD同期信号）が検知されると

→電源「入」 電源ランプ：緑色点灯

お知らせ 「信号モード」の「同期」が「オート」、「コンポーネント入力切替」が「RGB」のときのみ動作します。
([参照](#) 54、61ページ)

DVI-Dパワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

Standard mode

DVI入力時に約60秒間、映像（同期信号）が検知されないとき

→電源「切」（スタンバイ） 電源ランプ：橙色点灯

その後、映像（同期信号）が検知されると

→電源「入」 電源ランプ：緑色点灯

Low power mode

DVI入力時に約60秒間、DVI-D IN端子の+5V電源または映像（同期信号）が検知されないとき

→電源「切」（スタンバイ） 電源ランプ：橙色点灯

その後、+5V電源および映像（同期信号）が検知されると

→電源「入」 電源ランプ：緑色点灯

Standard modeの場合はLow power modeの場合よりもスリープ電力が高くなります。

Standard mode/Low power modeの切り換えはOptionsメニューの「DVI Power management mode」で設定します。
([参照](#) 69ページ)

お知らせ ● 本機能はDVI-D端子ボード（TY-FB11DD）には対応していません。
● 端子ボード（別売オプション）によっては設定できない場合があります。

無信号自動オフ

「有効」にすると、約10分間入力同期信号が無いと自動的に電源が切れます。

お知らせ MEMORY VIEWER入力では、USBメモリーが接続されていない場合に無信号と判断します。

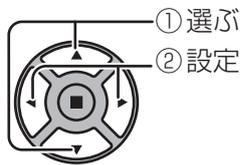
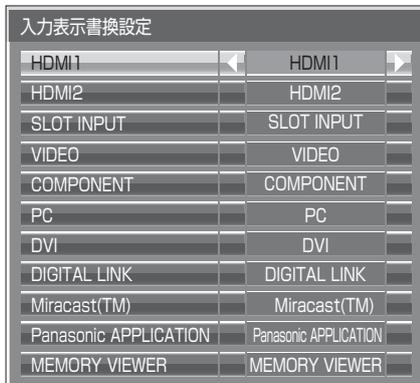
初期設定 (SET UP)

入力表示書換設定

入力端子に接続した機器に合わせて表示名を変更します。

「初期設定」メニューで「入力表示書換設定」を選んで  を押す。

映像入力を選び、信号名を設定する。



映像入力	表示名
[HDMI1]	HDMI1 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[HDMI2]	HDMI2 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[SLOT INPUT] ^{※1}	SLOT INPUT / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[VIDEO]	VIDEO / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[COMPONENT] ^{※2}	COMPONENT / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[PC]	PC / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[DVI]	DVI / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[DIGITAL LINK]	DIGITAL LINK / (スキップ)
[Miracast(TM)]	Miracast(TM) / (スキップ)
[Panasonic APPLICATION]	Panasonic APPLICATION / (スキップ)
[MEMORY VIEWER]	MEMORY VIEWER / (スキップ)

(スキップ) :  を押したときに入力を飛び越して表示します。

※1 「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。

※2 「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切替」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。
( 61ページ)

2 入力の端子ボードを装着した場合

「SLOT INPUT」は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示され、個別に設定できます。

[SLOT INPUT A]	SLOT INPUT A / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[SLOT INPUT B]	SLOT INPUT B / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

固定表示の端子ボードを装着した場合 (チューナーボードなど)

「SLOT INPUT」の入力ラベルは固定表示と(スキップ)のみ設定できます。

[SLOT INPUT] **固定表示** / (スキップ)

ファンクション設定

FUNCTION

1 2 を押したときに動作する機能を設定します。

「初期設定」メニューで「ファンクション設定」を選んで  を押す。

●「ファンクション設定」サブメニュー画面



お知らせ 工場出荷時は次のように機能が設定されています。
FUNCTION1 ボタン：INPUT(Miracast(TM))
FUNCTION2 ボタン：INPUT (MEMORY VIEWER)

■ファンクション1、ファンクション2

FUNCTIONボタンに次の機能を設定します。

ECOモード設定 / 信号モード / タイマー設定 / 2画面設定

メニュー画面を表示します。(例：ECOモード設定)

FUNCTION

1 2



FUNCTIONボタンを押すとメニューが消えます。

白色バー

スクリーンセーバー（白色バー）が動作し、15分後にディスプレイはスタンバイモードになります。



解除するには  を押します。

INPUT (SLOT)※～INPUT (MEMORY VIEWER)

FUNCTION

1 2

を押して入力をワンタッチで選択できます。

※「INPUT (SLOT)」は、端子ボード装着時に表示されます。

2入力の端子ボードを装着している場合は「INPUT (SLOT A)」および「INPUT (SLOT B)」と表示されます。

ネットワーク設定

「ネットワーク設定」メニューを表示します。

マルチライブ

「ワイヤレスマネージャー」を使用時、マルチライブモードに切り換えます。

 ネットワーク関連の機能は、取扱説明書「ネットワーク操作編」およびお使いの「ワイヤレスマネージャー」の取扱説明書をご確認ください。

AVミュート

音声や映像をミュートします。

解除するにはリモコンの何れかのボタンを押します。

2画面

FUNCTION

1 2

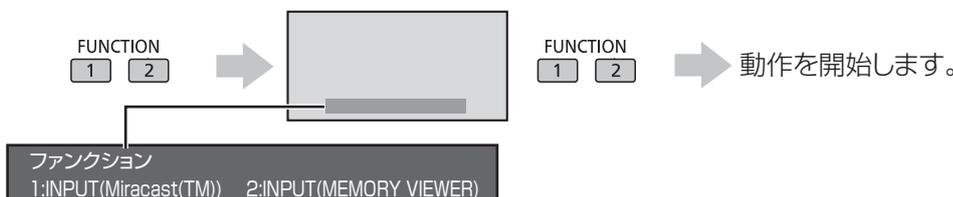
を押して2画面機能のオン/オフを切り換えます。

■ファンクションガイド

FUNCTIONボタンの機能表示を設定します。

オン: FUNCTIONボタンを押すとボタンの機能一覧を表示します。

オフ: 機能一覧は表示しません。



初期設定 (SET UP)

タイマー設定

自動的に電源を「入」または「切」にする設定を行います。

● 「タイマー設定」サブメニュー画面

「初期設定」メニューで
「タイマー設定」を選んで

■ を押す。



■ 指定した時刻に電源を「入」または「切」にする

- ① 「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を選ぶ。
- ② 「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を設定する。



一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

- ③ 「電源オン機能設定」または「電源オフ機能設定」を選ぶ。
- ④ 「オン」に設定する。

お知らせ 現在時刻を設定してから、タイマー設定をしてください。(☞ 下記)



現在時刻設定

曜日と現在時刻を設定します。(「99:99」と表示されている場合は、未設定となっています。)

● 「現在時刻設定」サブメニュー画面

「初期設定」メニューで
「現在時刻設定」を選んで

■ を押す。



■ 曜日と現在時刻を設定する

- ① 「曜日」または「現在時刻」を選ぶ。
- ② 「曜日」または「現在時刻」を設定する。



一度押すと、現在時刻は1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

- ③ 「設定」を選んで ■ を押す。



- お知らせ**
- 現在時刻を設定しないとタイマー設定やスクリーンセーバーなどの時間設定はできません。
 - 曜日および現在時刻の設定は、下記の場合にリセットされます。
 - ・ 本体の電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで約7日間放置したとき。
 - 現在時刻を「99:99」以外に設定しないと、曜日と現在時刻の設定はできません。

コンポーネント入力切換

コンポーネント／RGB入力（COMPONENT/RGB IN）端子または、PC IN 端子に接続された信号に合わせて設定します。

色差ビデオ：Y, P_B, P_R/Y, C_B, C_R信号

RGB : RGB信号

お知らせ 入力端子（COMPONENT/RGB IN、PC IN）ごとに設定してください。

YUV / RGB切換

本メニューは、DVI信号入力時に表示されます。DVI入力信号の方式に合わせて設定します。

YUV : YUV信号

RGB : RGB信号

お知らせ

- 入力端子（SLOT、DVI-D IN）ごとに設定してください。
- 端子ボード（別売オプション）によっては設定できない場合があります。

モニター出力

PC OUT端子からのモニター出力を設定します。

オフ：モニター出力が無効になります。

オン：モニター出力が有効になります。

「オン」に設定すると次の「画質の調整」メニュー調整値が標準値に固定となります。

黒レベル：50

色の濃さ：50

色合い：50

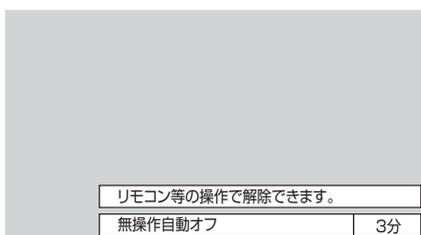
シャープネス：0

テクニカル ガンマ：2.2

無操作自動オフ

「有効」にすると、本機を約4時間以上操作しないとき、自動的に電源が切れます（スタンバイ）。

電源が切れる3分前から、切れるまでの残り時間を表示します。



本機能が働いて電源が切れた場合、次回電源を入れたときに「無操作自動オフが働きました。」と表示します。

お知らせ スクリーンセーバー動作中に、本機能は動作しません。

初期設定 (SET UP)

メニュー表示時間・OSD輝度

オンスクリーンメニューの表示時間と輝度レベルを設定します。

メニュー表示時間 : 5 S ~ 30 S
OSD輝度 : 1 ~ 5

表示言語切換

選択された言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。

選択できる言語

English(UK) : 英語 (イギリス)
Deutsch : ドイツ語
Francais : フランス語
Italiano : イタリア語
Espanol : スペイン語
Francais : フランス語
ENGLISH(US) : 英語 (アメリカ)
中文 : 中国語
日本語 : 日本語
Русский : ロシア語

オプション (Options) メニュー

本機は設置場所や用途に合わせて使用される場合に便利な特殊機能を備えています。

1  — 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

2  ① 押して「表示言語切換」を選択する。
② 3秒以上押す

3  ① 押して「Options」を選択する。
② 押して「Options」メニューを表示する。

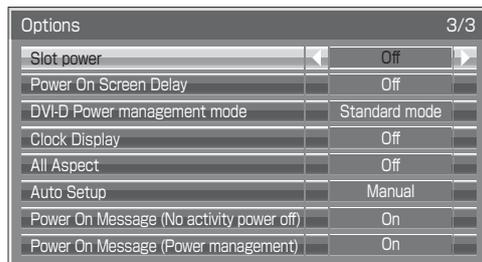
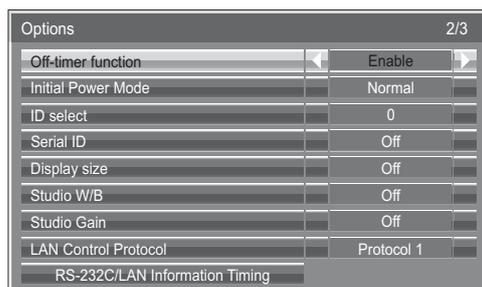


4  ① 押して設定項目を選択する。
② 押して設定する。

「Weekly Command Timer」、 「Audio input select」、 「Input Search」 または 「RS-232C/LAN Information Timing」 を選び、  を押すと設定画面になります。
( 64 ~ 66 · 68ページ)

5  — 押して設定を終了する。

● オプションメニュー画面



お知らせ

- 「オプション (Options)」メニューの操作はすべてリモコンで行います。本体の操作ボタンではできません。
-  を押すと1つ前の画面に戻ります。
- オプションメニューの言語は英語表示のみです。
- 手順3で「Display Serial Number」を選択すると本機のシリアル番号を表示します。

オプション (Options) メニュー

Weekly Command Timer (ウィークリーコマンドタイマー)

曜日ごとにプログラム設定 (時刻、コマンド) されたタイマー制御ができます。

- 曜日と現在時刻を設定してから、ウィークリーコマンドタイマーを設定してください。(P. 60ページ)

■ウィークリーコマンドタイマーの使用と各曜日ごとのプログラムを選択します。



1 ウィークリーコマンドタイマーを使うとき

▲▼で「Function」を選び、◀▶で「On」に設定する。

2 各曜日ごとにプログラムを選択する

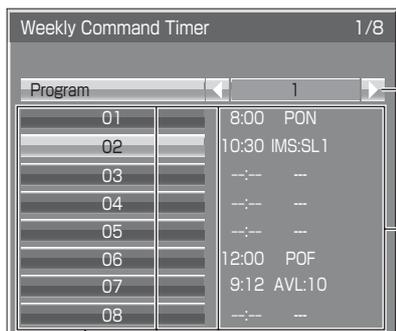
▲▼で曜日を選び、◀▶でプログラム番号を選ぶ。
プログラム番号はProgram 1 ~ 7まで設定できます。---は未設定です。

お知らせ 「Function」を「On」に設定すると、タイマー設定 (P. 60ページ) およびスクリーンセーバー (P. 55ページ) の「周期指定」「時刻指定」は無効になります。

▲▼で「Program Edit」を選び、を押す。

■プログラム番号ごとのプログラム内容を表示します。

1 プログラム64コマンド番号までの設定ができます。



1 表示させたいプログラム番号を選択する

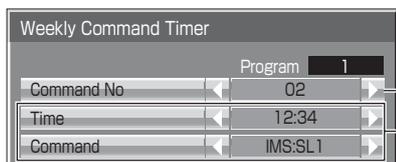
▲▼で「Program」を選び、◀▶でプログラム番号 (1 ~ 7) を切り換える。

コマンド番号ごとの設定内容
--:--、---は時刻、コマンドが未設定です。

2 確認したいコマンド番号を選択する

- ① ▲▼でコマンド番号を選ぶ。◀▶でページ切り換えができます。
- ② コマンドの設定をするときは  を押す。

■コマンド番号ごとにタイマー時刻とコマンドの設定をします。



1 設定したいコマンド番号を選択する

- ① ▲▼で「Command No」を選ぶ。
- ② ◀▶でコマンド番号を選ぶ。

2 タイマー時刻、コマンドを設定する

- ① ▲▼で「Time」または「Command」を選ぶ。
- ② ◀▶で設定する。

Time : ◀▶を1度押すと1分ごとに変化します。押し続けると15分ごとに変化します。

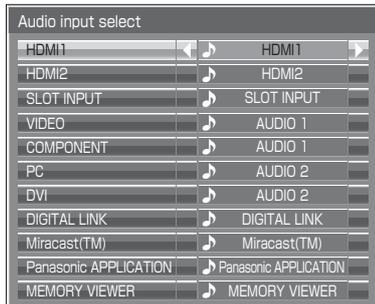
Command : 本機には、あらかじめ設定された64種類の内蔵コマンドがあります (P. 71ページ)。「Time」で設定した時刻に実行するコマンドを選んでください。

お知らせ  を押すと1つ前の画面に戻ります。

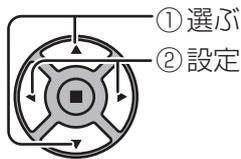
- お知らせ**
- コマンド番号に関係なく、設定した時刻順にコマンドを実行します。
 - 同じ時刻に複数のコマンドを設定した場合は、コマンド番号順に実行します。
 -  を押すと「Time」は--:--、「Command」は---になります。

Audio input select (音声入力選択)

映像入力を選んだときの音声を設定します。



映像入力を選び、音声入力を設定する。



映像入力	音声入力
[HDMI 1]	HDMI 1 / SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[HDMI 2]	HDMI 2 / SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[SLOT INPUT] ^{※1} [VIDEO] [COMPONENT] ^{※2} [PC] [DVI]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[DIGITAL LINK]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / DIGITAL LINK / NO AUDIO
[Miracast(TM)]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / Miracast(TM) / NO AUDIO
[Panasonic APPLICATION]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / Panasonic APPLICATION / NO AUDIO
[MEMORY VIEWER]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / MEMORY VIEWER / NO AUDIO

NO AUDIO : 音声入力なし (ミュート)

※1 「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。

※2 「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切替」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(P.73ページ)

2 入力の端子ボードを装着した場合

「SLOT INPUT」は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示され、個別に設定できます。

他の映像入力を設定する場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」を選べます。

映像入力	音声入力
[HDMI 1]	HDMI 1 / SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[HDMI 2]	HDMI 2 / SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[SLOT INPUT A]	SLOT INPUT A / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[SLOT INPUT B]	SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[VIDEO] [COMPONENT] [PC] [DVI]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[DIGITAL LINK]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / DIGITAL LINK / NO AUDIO
[Miracast(TM)]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / Miracast(TM) / NO AUDIO
[Panasonic APPLICATION]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / Panasonic APPLICATION / NO AUDIO
[MEMORY VIEWER]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / MEMORY VIEWER / NO AUDIO

映像入力と音声入力異なる場合は、下のように音声入力が表示されます。

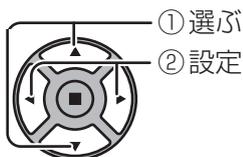


- お知らせ**
- HDMI音声は、HDMI入力のときのみ選べます。
 - SLOT INPUT A 入力にBの音声、またはSLOT INPUT B 入力にAの音声は設定できません。

オプション (Options) メニュー

Input Search (無信号時自動入力切換)

無信号になったとき、信号のある他の入力に自動で切り換えます。



Input Search

設定値 Off：無信号時、入力の自動切り換えをしません。

All Inputs：全入力をサーチして、信号のある入力に切り換えます。

下記の順で入力をサーチします。

例：現在の入力がPCの場合

→ PC → DVI → → COMPONENT

Priority：「Primary Input」と「Secondary Input」を順にサーチして、信号のある入力に切り換えます。



入力サーチ中は「サーチ中」と表示します。

Primary Input、Secondary Input

「Priority」のときにサーチする入力を設定します。

設定値 (NONE)、HDMI1、HDMI2、SLOT INPUT*、VIDEO、COMPONENT、PC、DVI、DIGITAL LINK、Panasonic APPLICATION

*「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。

2入力の端子ボードを装着している場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示されます。

お知らせ

- 「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。(☞ 67ページ)
- 本機能で入力が切り換わった場合、次回電源「入」時はその入力になります。電源「入」時に元の入力にするには「Initial input」を元の入力に設定してください。

Onscreen display (オンスクリーン表示)

電源オン表示、入力切換表示、無信号表示、メニュー画面表示後の消音表示、 を押した後の消音とオフタイマー残り時間表示、オフタイマー 3分前の残時間表示を行わなくすることができます。

設定値

On：表示にします。
Off：非表示にします。

Initial input (スタート入力設定)

電源「入」時の入力を設定します。

設定値

Off、HDMI1、HDMI2、SLOT INPUT*¹、VIDEO、COMPONENT*²、PC、DVI、DIGITAL LINK、Miracast(TM)、Panasonic APPLICATION、MEMORY VIEWER

*¹「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。

2入力の端子ボードを装着している場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示されます。

*²「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(☞ 61ページ)

お知らせ

「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。(☞ 67ページ)

Initial VOL level (スタート音量設定)

電源「入」時の音量を設定します。

設定値

Off：通常の音量になります。
On：設定した音量になります。

(メニューの「Initial VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します)

音量の設定

 を押して音量を調整します。

お知らせ

「Maximum VOL level」が「On」のときは「Maximum VOL level」で設定した音量以上には設定できません。(☞ 67ページ)

Maximum VOL level (最大音量設定)

音量を設定以上に大きくならないようにします。

- 設定値** Off : 通常の音量になります。
On : 設定した音量になります。

(メニューの「Maximum VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します)

■ 音量の設定

 を押して音量を調整します。

お知らせ

「Maximum VOL level」を「Off」から「On」にしたとき、「Maximum VOL level」で設定した音量が「Initial VOL level」の設定した音量以下では強制的に「Initial VOL level」で設定した音量は「Maximum VOL level」で設定した音量になります。

Input lock (入力切替固定)

入力を固定して「入力切替」操作をできなくします。

- 設定値** Off、HDMI1、HDMI2、SLOT INPUT*1、VIDEO、COMPONENT*2、PC、DVI、DIGITAL LINK、Miracast(TM)、Panasonic APPLICATION、MEMORY VIEWER

※1「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。
2入力の端子ボードを装着している場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示されます。

※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切替」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(P.61ページ)

お知らせ

- 「Off」以外に設定すると、すぐに入力切替操作ができなくなります。また、2画面にはできません。
- 2画面時は「Off」以外に設定すると1画面で設定した入力に固定します。

Button lock (ボタン操作制限)

本体のボタン操作を制限します。

- 設定値** Off : ボタン操作を制限しません。
MENU & ENTER :  MENU と  ENTER 操作はできません。
On : すべてのボタン操作はできません。

Button lockは、次の手順で本体のボタンを操作して設定できます。

Off :  - /  を4回押す →  INPUT を4回押す →  - /  を4回押す →  ENTER を押す

MENU & ENTER :

 ENTER を4回押す →  + /  を4回押す →  INPUT を4回押す →  ENTER を押す

On :  - /  を4回押す →  ENTER を4回押す →  + /  を4回押す →  ENTER を押す

Remocon User level(リモコン操作制限)

リモコンのボタン操作を制限します。

- 設定値** Off : ボタン操作を制限しません。
User1 : 、、、、、 以外のボタン操作はできません。
User2 :  以外のボタン操作はできません。
User3 : すべてのボタン操作はできません。

Off-timer function (オフタイマー機能)

オフタイマー機能を有効/無効の設定をします。

- 設定値** Enable : オフタイマー機能を有効にします。
Disable : オフタイマー機能を無効にします。

お知らせ

オフタイマー設定時は「Disable」にするとオフタイマーが解除されます。

Initial Power Mode (電源復帰モード)

電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときの本体の電源状態を設定します。

- 設定値** Normal : 電源が切れる前の状態で復帰します。
Standby : 電源「スタンバイ」の状態復帰します(電源ランプ：赤色/橙色点灯)。
On : 電源「入」の状態復帰します(電源ランプ：緑色点灯)。

お知らせ

本機を複数台設置されている場合は、電源が復帰したときの負担を軽減するために「Standby」に設定されることをおすすめします。

ID select (ID番号選択)

「Serial ID」でディスプレイ本体(パネル)の制御を行うときのID番号(パネル番号)を設定します。

- 設定値** ID select : 設定値 : 0 ~ 100。(標準値 : 0)

Serial ID (シリアルID)

SERIAL (シリアル) 端子に接続したパソコンからの外部制御をディスプレイのID番号(パネルID)により制御する設定をします。

- 設定値** Off : IDによる外部制御を無効にします。
On : IDによる外部制御を有効にします。

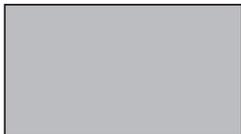
オプション (Options) メニュー

Display size (画面表示領域設定)

画面の映像表示領域の設定をします。

- 設定値** Off : 通常の映像表示領域にします。
On : 映像表示領域を通常の約95%にして映像端が確認できます。

「Off」のとき全域表示



「On」のとき画角の95%領域表示



- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
NTSC, PAL, SECAM, M.NTSC, PAL60, PAL-M, PAL-N (ビデオ) 525i, 525p, 625i, 625p, 750/60p, 750/50p, 1125/60i, 1125/50i, 1125/24psF, 1125/25p, 1125/24p, 1125/60p, 1125/50p, 1125/30p, 1250/50i (コンポーネント (色差) ビデオ, RGB, DVI, SDI, HDMI)
(DVI, SDI, HDMIの対応信号は各ボードの説明書を参照ください。)
- 2画面表示やデジタルズームでは、この設定は有効になりません。
- 「On」に設定して画面表示中は画面位置/サイズの調整は水平位置、垂直位置のみできます。

Studio W/B (スタジオW/B)

スタジオW/Bの設定をします。

- 設定値** Off : 設定が無効になります。
On : テレビスタジオ用の色温度にします。

お知らせ

「画質の調整」の「色温度」が「低」のときに有効になります。

Studio Gain (スタジオゲイン)

画像の明るい部分が白くつぶれて見える場合 (白つぶれ) に、コントラストを高めて見やすい映像にします。

- 設定値** Off : スタジオゲイン機能を無効にします。
On : スタジオゲイン機能を有効にします。(白つぶれを解消します)

- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
コンポーネント (色差) ビデオ, RGB (アナログ), SDI, HDMI

LAN Control Protocol (LAN制御プロトコル)

LAN制御のプロトコルを選択します。

- 設定値** Protocol 1 : Panasonicディスプレイのシーケンスで制御します。
Protocol 2 : Panasonicプロジェクターと互換性のあるシーケンスで制御します。

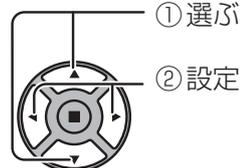
RS-232C/LAN Information Timing (情報通知タイミング)

無信号時の警告・エラーや周囲温度の上昇をお知らせする機能を設定します。

RS-232C制御時: 警告・エラー情報を本機から自動で発信します。

LAN制御時: 警告・エラー情報を本機から取得できます。

RS-232C/LAN Information Timing	
No Signal Warning	On
No Signal Warning Timing	5min
No Signal Error	On
No Signal Error Timing	10min
Temperature Warning	On
Temperature Warning Value	55°C
Temperature Warning Release Value	52°C



No Signal Warning

「On」に設定すると無信号警告を通知します。

No Signal Warning Timing

無信号警告の検出時間を設定します。

No Signal Error

「On」に設定すると無信号エラーを通知します。

No Signal Error Timing

無信号エラーの検出時間を設定します。

次の5つの機能の何れかが働いて無信号を検出した場合は、「No Signal Warning」と「No Signal Error」による警告・エラーは通知されません。

無信号自動オフ、PCパワーマネージメント、DVI-Dパワーマネージメント、HDMI1パワーマネージメント、HDMI2パワーマネージメント (P.57ページ)

設定例

No Signal Warning Timing : 5分

No Signal Error Timing : 10分

PCパワーマネージメント : オン (30秒)

PC IN入力時に無信号を検出すると「PCパワーマネージメント」が先に働いてスタンバイになります。

お知らせ

「No Signal Error Timing」は「No Signal Warning Timing」より短く設定できません。

Temperature Warning

「On」に設定すると本機の温度警告を通知します。

Temperature Warning Value

温度警告を検出する温度を設定します。

Temperature Warning Release Value

温度警告を解除する温度を設定します。

Slot power (スロット電源)

スロット電源への電源供給の設定を行います。「On」または装着ボードにより、スロットに電源供給されるとき…電源「スタンバイ」時は電源ランプ橙色点灯)

設定値

Off : 電源供給はしません

Auto: 電源「入」時に電源供給します。

電源「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」時は電源供給しません。

On : 電源「入」時、電源「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」時に電源供給します。(機能動作を保持する必要のあるボードを装着のとき)

お知らせ

装着されるボードによっては設定に関わらず電源「入」時と「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」時に電源供給されます。

Power On Screen Delay(起動遅延制御)

複数台のディスプレイを設置し、同時に電源「入」にしたとき、各ディスプレイの電源が入るタイミングを遅らせて電源負荷を分散します。各ディスプレイごとに設定してください。

設定値 Off : 電源「入」と同時に電源が入ります。
1...30 : 遅延時間(秒)を設定します。電源を「入」にしてから設定した時間だけ遅れてディスプレイの電源が入ります。

お知らせ

- 遅延動作開始から終了までの間は、電源ランプが緑色点滅します。
- 電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときにもこの機能は働きます。スタンバイ時のスロット電源供給時に電源プラグを抜き差しすると、スロットへの電源供給が遅延動作します。そのとき、電源ランプは赤色点灯後、電源供給とともに橙色点灯します。

DVI Power management mode(パワーマネジメント設定)

「DVI-Dパワーマネジメント」の動作モードを設定します。

設定値 Standard mode : 同期信号が検知されないときにパワーマネジメントを働かせます。
Low power mode : DVI-D IN端子の+5V電源が検知されないときにもパワーマネジメントを働かせます。消費電力がより低くなります。

Clock Display (時計表示設定)

時計表示の表示/非表示を設定します

設定値 Off : 時計を表示しません。
On : 時計を表示します。

時計表示は、を押したとき、ディスプレイの左下に表示されます。

お知らせ

現在時刻が未設定の場合、「Clock Display」を「On」に設定しても時計は表示されません。(☞ 60ページ)

Power On Message (No activity power off) (無操作自動オフ警告メッセージ)

電源「入」時の無操作自動オフ警告メッセージの表示/非表示を設定します。

設定値 On : 電源「入」時に警告メッセージを表示します。
Off : 電源「入」時に警告メッセージを表示しません。

お知らせ

本設定は、「無操作自動オフ」が「有効」の場合に有効になります。(☞ 61ページ)

Power On Message (Power Management) (パワーマネジメントお知らせメッセージ)

電源「入」時、パワーマネジメントによって電源オフされた事をお知らせするメッセージの表示/非表示を設定します。

設定値 On : 電源「入」時にお知らせメッセージを表示します。
Off : 電源「入」時にお知らせメッセージを表示しません。

お知らせ

本設定は、「パワーマネジメント」機能が「オン」の場合に有効になります。(☞ 57ページ)

ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには

「Button lock」「Remocon User level」の設定を行ない、リモコンと本体のボタンで本機の操作ができなくなったときに、設定を「Off」に戻し操作ができるようにします。

本体のボタン -とリモコン を同時に5秒以上押す

「Shipping」メニューを表示した後、表示が消えロックが解除されます。

- 「Button lock」「Remocon User level」の設定が「Off」に戻ります。



All Aspect (全画面モード設定)

ASPECT

を押したときの画面モード切換パターンを工場出荷時の仕様から全画面モード切換仕様に設定します。

設定値 Off : 工場出荷時の画面モード切換仕様
On : 全画面モード切換仕様

「All Aspect」の設定を切り換えると、画面モードは次のようになります。

例) HD信号入力の場合



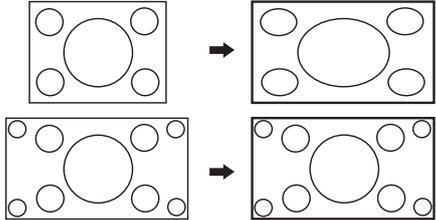
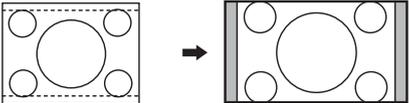
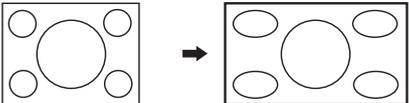
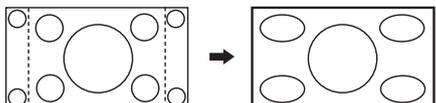
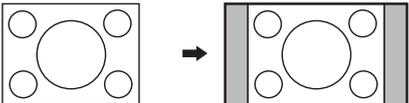
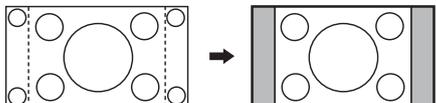
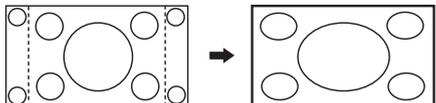
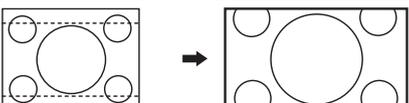
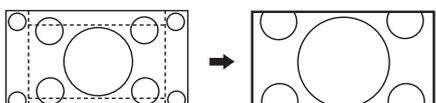
Auto Setup (自動位置補正)

「画面位置/サイズ」メニューの自動位置補正の動作モードを設定します。

設定値 Manual : リモコンの を押したときや「画面位置/サイズ」メニューで自動位置補正を実行したときに動作する。
Auto : リモコン、メニューでの操作以外に、次の場合に自動位置補正が動作します。

- ディスプレイの電源を「入」にしたとき
- 入力信号が切り変わったとき

画面モード一覧

画面モード		映像 → 拡大画面	説明
All Aspect : On	工場出荷時 All Aspect : Off		
16:9	フル		映像を画面いっぱいに表示します。SD信号の場合は4:3の映像を横方向に拡大します。16:9のアナモフィック映像を表示するのに適しています。
14:9	—		14:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大します。垂直は画面いっぱい、水平は画面より少し小さめに表示します。映像の上下端はカットされます。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
Just Just1	ジャスト		4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。画面の左右周辺は少し伸びた表示になります。
Just2	サイドカット ジャスト		4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。映像の左右端はカットされます。画面の左右端周辺は少し伸びた表示になります。
4:3 4:3 (1)	ノーマル		4:3映像をそのまま表示します。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
4:3 (2)	サイドカット ノーマル		4:3の映像をそのまま表示します。映像の両端はサイドパネルでマスクされます。
4:3 Full	サイドカット フル		4:3の映像を横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の左右端はカットされます。
Zoom Zoom1	ズーム		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。
Zoom2	サイドカット ズーム		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。
Zoom3	—		2.35:1のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、垂直は画面いっぱい、水平は画面より少し大きめに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。

Weekly Command Timer のコマンド

No.	コマンド	制御内容
1	AAC:MENCLR	音声メニュー クリア
2	AAC:MENDYN	音声メニュー ダイナミック
3	AAC:MENSTD	音声メニュー スタンダード
4	AAC:SURMON	サラウンド ON
5	AAC:SUROFF	サラウンド OFF
6	AMT:0	音声ミュート OFF
7	AMT:1	音声ミュート ON
8	ASO:M	2画面時音声出力 主画面
9	ASO:S	2画面時音声出力 副画面
10	AVL:00	音量 00
11	AVL:10	音量 10
12	AVL:20	音量 20
13	AVL:30	音量 30
14	AVL:40	音量 40
15	AVL:50	音量 50
16	AVL:60	音量 60
17	DAM:FULL	画面モード フル
18	DAM:JUST	画面モード ジャスト
19	DAM:NORM	画面モード ノーマル
20	-	-
21	DAM:ZOOM	画面モード ズーム
22	DWA:OFF	2画面設定 OFF
23	ISS:SL1	副画面入力切換 SLOT INPUT選択
24	ISS:NW1	副画面入力切換 Panasonic APPLICATION選択
25	-	-
26	IMS:HM2	入力切換 (2画面時は主画面) HDMI2選択
27	IMS:DL1	入力切換 (2画面時は主画面) DIGITAL LINK選択
28	ISS:HM2	副画面入力切換 HDMI2選択
29	ISS:DL1	副画面入力切換 DIGITAL LINK選択
30	-	-
31	DWA:PIN0	2画面時の副画面位置 右下
32	DWA:PIN1	2画面時の副画面位置 左下
33	DWA:PIN2	2画面時の副画面位置 左上
34	DWA:PIN3	2画面時の副画面位置 右上

No.	コマンド	制御内容
35	DWA:PIP	2画面設定 P IN P
36	-	-
37	DWA:SWP	2画面時の主/副画面入れ換え
38	-	-
39	IMS:SL1	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT INPUT選択
40	IMS:S1A	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT INPUT A選択
41	IMS:S1B	入力切換 (2画面時は主画面) SLOT INPUT B選択
42	IMS:VD1	入力切換 (2画面時は主画面) VIDEO選択
43	IMS:YP1	入力切換 (2画面時は主画面) COMPONENT選択
44	IMS:HM1	入力切換 (2画面時は主画面) HDMI1 選択
45	IMS:DV1	入力切換 (2画面時は主画面) DVI選択
46	IMS:PC1	入力切換 (2画面時は主画面) PC選択
47	IMS:NW1	入力切換 (2画面時は主画面) Panasonic APPLICATION選択
48	ISS:S1A	副画面入力切換 SLOT INPUT A選択
49	ISS:S1B	副画面入力切換 SLOT INPUT B選択
50	ISS:VD1	副画面入力切換 VIDEO選択
51	ISS:YP1	副画面入力切換 COMPONENT選択
52	ISS:HM1	副画面入力切換 HDMI1 選択
53	ISS:DV1	副画面入力切換 DVI選択
54	ISS:PC1	副画面入力切換 PC選択
55	OSP:SCRO	スクリーンセーバー白色バー OFF
56	OSP:SCR1	スクリーンセーバー白色バー ON
57	POF	電源「切」
58	PON	電源「入」
59	SSC:FNC0	スクリーンセーバー機能選択 白色バー
60	SSC:FNC1	スクリーンセーバー機能選択 色反転
61	SSC:MOD0	スクリーンセーバー動作選択 OFF
62	SSC:MOD3	スクリーンセーバー動作選択 ON
63	VMT:0*	映像ミュート OFF
64	VMT:1*	映像ミュート ON

※ リモコン操作による電源の入/切では、映像ミュート状態は解除できません。ディスプレイ本体のボタンによる電源の入/切またはコマンドVMT:0で解除されます。

表示可能な入力信号

*: 表示可能な入力信号

	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	COMPONENT/RGB IN, PC IN (Dotclock (MHz))	DVI-D IN (Dotclock (MHz))	HDMI 1 HDMI 2
1	525 (480) / 60i	15.73	59.94	* (13.5)	* (27.0)	*
2	525 (480) / 60p	31.47	59.94	* (27.0) ※5	* (27.0)	*
3	625 (575) / 50i	15.63	50.00	* (13.5)		
4	625 (576) / 50i	15.63	50.00		* (27.0)	*
5	625 (575) / 50p	31.25	50.00	* (27.0)		
6	625 (576) / 50p	31.25	50.00		* (27.0)	*
7	750 (720) / 60p	45.00	60.00	* (74.25)	* (74.25)	*
8	750 (720) / 50p	37.50	50.00	* (74.25)	* (74.25)	*
9	1,125 (1,080) / 60p	67.50	60.00	* (148.5) ※1	* (148.5)	*
10	1,125 (1,080) / 60i	33.75	60.00	* (74.25) ※1	* (74.25)	*
11	1,125 (1,080) / 50p	56.26	50.00	* (148.5) ※1	* (148.5)	*
12	1,125 (1,080) / 50i	28.13	50.00	* (74.25) ※1	* (74.25)	*
13	1,125 (1,080) / 24psF	27.00	48.00	* (74.25) ※2		
14	1,125 (1,080) / 30p	33.75	30.00	* (74.25) ※1	* (74.25)	
15	1,125 (1,080) / 25p	28.13	25.00	* (74.25) ※1	* (74.25)	
16	1,125 (1,080) / 24p	27.00	24.00	* (74.25) ※1	* (74.25)	*
17	1,250 (1,080) / 50i	31.25	50.00	* (74.25) ※3		
18	2,048 × 1,080 / 24psF ※7	27.00	48.00			
19	2,048 × 1,080 / 24p ※7	27.00	24.00			
20	640 × 400 @70 Hz	31.46	70.07	* (25.17)		
21	640 × 480 @60 Hz	31.47	59.94	* (25.18) ※6	* (25.18)	*
22	640 × 480 @72 Hz	37.86	72.81	* (31.5)		
23	640 × 480 @75 Hz	37.50	75.00	* (31.5)		
24	640 × 480 @85 Hz	43.27	85.01	* (36.0)		
25	800 × 600 @56 Hz	35.16	56.25	* (36.0)		
26	800 × 600 @60 Hz	37.88	60.32	* (40.0)	* (40.0)	*
27	800 × 600 @72 Hz	48.08	72.19	* (50.0)		
28	800 × 600 @75 Hz	46.88	75.00	* (49.5)		
29	800 × 600 @85 Hz	53.67	85.06	* (56.25)		
30	852 × 480 @60 Hz	31.47	59.94	* (33.54) ※6	* (34.24)	*
31	1,024 × 768 @50 Hz	39.55	50.00		* (51.89)	*
32	1,024 × 768 @60 Hz	48.36	60.00	* (65.0)	* (65.0)	*
33	1,024 × 768 @70 Hz	56.48	70.07	* (75.0)		
34	1,024 × 768 @75 Hz	60.02	75.03	* (78.75)		
35	1,024 × 768 @85 Hz	68.68	85.00	* (94.5)		
36	1,066 × 600 @60 Hz	37.64	59.94	* (53.0)	* (53.0)	*
37	1,152 × 864 @60 Hz	53.70	60.00		* (81.62)	*
38	1,152 × 864 @75 Hz	67.50	75.00	* (108.0)		
39	1,280 × 768 @60 Hz	47.70	60.00	* (80.14)		
40	1,280 × 800 @60 Hz (1)	49.31	59.91	* (71.0)	* (71.0)	*
41	1,280 × 800 @60 Hz (2)	49.70	59.81	* (83.5)	* (83.5)	*
42	1,280 × 960 @60 Hz	60.00	60.00	* (108.0)		
43	1,280 × 960 @85 Hz	85.94	85.00	* (148.5)		
44	1,280 × 1,024 @60 Hz	63.98	60.02	* (108.0)	* (108.0)	*
45	1,280 × 1,024 @75 Hz	79.98	75.03	* (135.0)		
46	1,280 × 1,024 @85 Hz	91.15	85.02	* (157.5)		
47	1,366 × 768 @50 Hz	39.55	50.00		* (69.92)	*
48	1,366 × 768 @60 Hz	48.36	60.00	* (86.71)	* (87.44)	*
49	1,400 × 1,050 @60 Hz	65.22	60.00		* (122.61)	*
50	1,440 × 900 @60 Hz (1)	55.47	59.90	* (88.75)	* (88.75)	*
51	1,440 × 900 @60 Hz (2)	55.93	59.89	* (106.5)	* (106.5)	*
52	1,600 × 1,200 @60 Hz	75.00	60.00	* (162.0)	* (162.0)	*
53	1,600 × 1,200 @65 Hz	81.25	65.00	* (175.5)		
54	1,920 × 1,080 @60 Hz	67.50	60.00	* (148.5) ※4	* (148.5)	*
55	1,920 × 1,200 @60 Hz	74.04	59.95		* (154.0)	*
56	Macintosh13" (640 × 480)	35.00	66.67	* (30.24)		
57	Macintosh16" (832 × 624)	49.72	74.54	* (57.28)		
58	Macintosh21" (1,152 × 870)	68.68	75.06	* (100.0)		

- ※1 SMPTE 274M準拠。 ※2 SMPTE RP211準拠。 ※3 SMPTE 295M準拠。
 ※4 1,125 (1,080) / 60p として認識します。
 ※5 PC INに525p信号を入力し、RGBフォーマット選択した場合、VGA 60 Hzとして認識します。
 ※6 PC IN以外の入力端子にVGA 60 Hzフォーマットの信号が入力された場合、525pとして認識します。
 ※7 SMPTE 292M, 372M準拠。Dual Link HD-SDI端子ボード (TY-FB11DHD) 装着時に受像可能となります。

表示可能な入力信号

ビデオ入力 (VIDEO)

	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	NTSC	15.73	59.94
2	PAL	15.63	50.00
3	PAL60	15.73	59.94
4	SECAM	15.63	50.00
5	M.NTSC	15.73	59.94

工場出荷時の設定に戻すには

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「画面位置/サイズ」「テクニカル」「オプション」メニューの設定、調整値を以下の操作で工場出荷時の状態に戻します。

リモコン操作	本体操作
1  ① 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。	 MENU を数回押して「初期設定」メニュー画面を表示する。
2  ① 押して「表示言語切換」を選択する。 ② 3秒以上押す。	 - /  または  + /  を押して「表示言語切換」を選択する。
3  ① 押して「Shipping」を選択する。 ② 押して「Shipping」画面を表示する。	 ENTER /  を5秒以上押す。
4  ① 押して「YES」を選択する。 ② 押す。	 + /  ① 押して「YES」を選択する。  ENTER /  ② 押す。
5  10秒以上待った後、本体の電源 (O/I) スイッチを押して電源を切る。	

修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	●液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。これは故障ではありません。	—
電源が入らない	●コンセントまたは本機から電源プラグが外れていませんか。	11・12
電源が自動的に切れる	●「無信号自動オフ」、「PCパワーマネージメント」、「DVI-Dパワーマネージメント」、「HDMI1パワーマネージメント」、「HDMI2パワーマネージメント」または「無操作自動オフ」が「オン（有効）」に設定されていませんか。	57・61
電源ランプが赤色点滅する	●故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
リモコンで操作できない	●電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 ●リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ●本機専用のリモコンを使用していますか。（他のリモコンでは動作しません） ●オプションメニューの「Remocon User level」設定を「Off」以外にしていませんか。	— — — 67
本機から時々、「ピシッ」と音がする	●画面や音声に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他には影響ありません。	—
映像が出るまでに時間がかかる	●本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	●自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。	—
色が薄い	●色の濃さの調整がずれていませんか。（映像の調整値をご確認ください。）	44
色模様が出たり色が消える	●他の映像機器から影響（妨害電波）を受けていませんか。本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
ズームにしたとき画面の上または下が欠ける	●映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。画面位置の調整をしてください。	39～41
ズームにしたとき画面の上下に映像の出ない部分ができる	●16：9より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	29・30
映像の輪郭がチラチラする	●パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
ディスプレイ本体から「ヒューンヒューン」と音がする	●本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。	—
本体のボタンで操作できない	●オプションメニューの「Button lock」設定を「Off」以外にしていませんか。	67
映像、音声が出ないことがある。	●HDMI信号やDVI信号をセレクトや分配器を通して本ディスプレイに入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われない場合があります。本機の電源を入れ直すまたは、セレクトや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—
RS-232C制御ができない	●接続は正しく行われていますか。 ●18ページのRS-232CコマンドをディスプレイのSERIAL端子から制御する場合は、「制御端子選択」が「RS-232C」、DIGITAL LINK機器のRS-232C端子から制御する場合は「制御端子選択」が「DIGITAL LINK/LAN」および「DIGITAL LINKモード」が「DIGITAL LINK (RS-232C)」になっていますか。	18 ※
LAN制御ができない	●接続は正しく行われていますか。 ●WEB ブラウザコントロール、コマンドコントロールで制御する場合は、「制御端子選択」が「DIGITAL LINK/LAN」になっていますか。 ●AMX社、Crestron Electronics, Inc.、Extron社の機器を接続している場合は、「AMX D.D.」設定「Crestron Connected™」設定、「Extron XTP」設定をお使いに機器に合わせて設定してください。 ●「DIGITAL LINKステータス」の「信号品質」情報を参照し、LANケーブルが断線している、ケーブルがシールドされていないなど、LANケーブルの状態等を確認ください。	※
DIGITAL LINK 端子の映像または音声が出ない	●映像（出力）機器とツイストペアケーブル伝送器、ツイストペアケーブル伝送器と本機との接続は正しく行われていますか。 ●[DIGITAL LINK モード] が [LAN] になっていませんか。	※

※ネットワークやDIGITAL LINKの設定については取扱説明書「ネットワーク操作編」をご覧ください。

Miracastをご使用のとき

Miracast 接続でお困りの場合は、以下の項目を参考にしてください。

Miracast 接続できない

- 無線LANの設定が「オフ」になっていませんか。
- 本機の入力は [Miracast(TM)] が正しく選択されていますか。
- Miracast 対応端末の設定を確認してください。Miracast の接続方法については、Miracast 対応端末の取扱説明書をお読みください。
- Miracast 対応端末と本機の間には障害物はありませんか。また、Miracast 対応端末が本機から離れすぎていませんか。障害物を取り除き、Miracast 対応端末を近づけてください。
- Miracast 対応端末などで「ペア設定されたディスプレイ」という欄に接続情報が残ることがありますが、その画面からは再接続はできません、接続可能な機器の一覧から接続してください。
- お使いのMiracast 対応端末の機種や状態によっては、正常に接続出来ないことがあります。

突然接続できなくなり、画像が更新されなくなった

- Miracast 待ち受け画面が表示されない、正常な音が出ない、接続できないなどが発生した場合、次の方法で、復帰操作を行ってください。
 - 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - Miracast 対応端末および本機の電源を入れ直してください。

Miracast の映像が乱れる

- 無線LAN のモードを「S-DIRECT」または「M-DIRECT」に設定してください。
- Miracast 接続は無線を使用しているため、電波環境によっては映像が乱れることがあります。このようなときは、次のことをお試しください。
 - Miracast 対応端末と本機を近づけてください。
 - 電子レンジ・ゲーム機など電磁波を発する他の機器から、離して設置してください。それでも改善しない場合は、電磁波を発する他の機器の使用を控えてください。
 - 複数台の無線機器が同一ルーターに接続されている場合、無線の帯域が不足していることがあります。使用していない機器の電源を切るか、他の機器の使用を控えてください。
- コンテンツ自身に問題があると映像が乱れる場合がありますので、コンテンツをご確認ください。
- お使いのMiracast 対応端末によっては、Miracast の映像が乱れることがあります。これは、Miracast 対応端末の処理能力や無線伝送性能に起因した症状で、本機の故障ではありません。

Miracast 接続した後、放置していたらMiracast 接続が切れた

- お使いのMiracast 対応端末の設定によっては、一定時間で接続が切れる場合があります。端末の省電力の設定などをご確認ください。
- 無線ドライバーやファームウェアの更新によって改善される場合があります。お使いの端末メーカーのサポート窓口にもお問い合わせください。

その他

- お使いのMiracast 対応端末によっては、"from UNKNOWN" という接続者名で再接続の確認画面が表示される場合がありますが、その場合再接続はできませんので、CANCEL を選択してください。
- お使いのMiracast 対応端末によっては、接続時に「デバイスの削除」を求められることがあります。その場合、端末の指示に従ってデバイスを削除してください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼される時

76 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他で不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリー
ダイヤル



パナハ ヨイワ
0120-878-410

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付: 9時~17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

品番	TH-50LFC70J (50V型) *	TH-65LFC70J (65V型) *		
種類	ハイビジョン液晶ディスプレイ			
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz			
消費電力	135 W	210 W		
	本体電源「切」時 約 0.3 W リモコンで電源「切」時 約 0.5 W			
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA			
スピーカー	フルレンジ：12 cm×4 cm 2個			
液晶ディスプレイパネル	VAパネル (LEDバックライト)			
画面寸法	50V 型* (アスペクト比16:9)	65V 型* (アスペクト比16:9)		
	幅 109.5 cm 高さ 61.6 cm 対角 125.7 cm	幅 142.8 cm 高さ 80.3 cm 対角 163.8 cm		
画素数	2,073,600画素 (水平1,920×垂直1,080) [ドット数5,760×1,080]			
動作使用条件	温度：0℃～40℃ 湿度：20%～80% (結露のないこと)			
本体	ビデオ入力端子 AV IN	VIDEO BNC接栓 1.0 V [p-p] (75 Ω) AUDIO 1 IN M3ジャック×1 0.5 V [rms] COMPONENT/RGB IN と共用		
	HDMI入力端子 HDMI1・HDMI2	TYPE Aコネクター×2		
	コンポーネントビデオ/ RGB入力端子 COMPONENT/RGB IN	Y/G BNC接栓 1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む P _B /C _B /B BNC接栓 0.7 V [p-p] (75 Ω) P _R /C _R /R BNC接栓 0.7 V [p-p] (75 Ω) AUDIO 1 IN M3ジャック×1 0.5 V [rms] VIDEO と共用		
	デジタルRGB入力端子 DVI-D IN	DVI-D 24ピン DVI Revision 1.0準拠 HDCP 1.1対応 AUDIO 2 IN M3ジャック×1 0.5 V [rms] PC INと共用		
	パソコン入力端子 PC IN	ミニD-sub 15ピン SXGA対応：マルチスキャン方式 (DDC2B対応) *対応周波数：水平15 kHz～110 kHz 垂直48 Hz～120 Hz (但し表示ドット数が水平あるいは、垂直画素数を超える信号は簡易表示)		
		Y/G 1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む 0.7 V [p-p] (75 Ω) 非同期信号時 P _B /C _B /B 0.7 V [p-p] (75 Ω) P _R /C _R /R 0.7 V [p-p] (75 Ω) HD/VD 1.0～5.0 V [p-p] (ハイインピーダンス) AUDIO 2 IN M3ジャック×1 0.5 V [rms] DVI-D INと共用		
	シリアル端子 SERIAL	外部制御用端子 D-sub 9ピン RS-232C準拠		
	モニターアウト端子 PC OUT	R 0.7 V [p-p] (75 Ω) G 0.7 V [p-p] (75 Ω) B 0.7 V [p-p] (75 Ω) HD/VD 3.5～5.0 V [p-p]		
	USBメモリー端子 USB (VIEWER)	USBコネクター TYPE A		
	DIGITAL LINK端子 DIGITAL LINK, LAN	RJ45 ネットワーク接続用、DIGITAL LINK接続用、PLink™対応 通信方式：RJ45 100BASE-TX		
	外部スピーカー端子 EXT SP	8 Ω、20 W [10 W + 10 W] (10% THD)		
	外形寸法	幅 115.1 cm 高さ 67.2 cm 奥行 9.4 cm	幅 148.4 cm 高さ 85.9 cm 奥行 9.7 cm	
		質量 約 30.0 kg	質量 約 55.0 kg	
	キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)		
	リモコン	品番	N2QAYB000691	
		使用電源	DC 3 V (単3形乾電池2個)	
		操作距離	約 7 m以内 (液晶ディスプレイ正面距離)	
		使用範囲	受信部左右：30°以内、受信部上下：20°以内	
		質量	約 100 g (乾電池含む)	

※ ディスプレイのV型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

仕様

本 体	品番	TH-80LFC70J (80V型) *		
	種類	ハイビジョン液晶ディスプレイ		
	使用電源	AC100 V ±10 % 50 Hz / 60 Hz		
	消費電力	345 W		
		本体電源「切」時 約0.3 W リモコンで電源「切」時 約0.5 W		
	音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA		
	スピーカー	フルレンジ：12 cm×4 cm 2個		
	液晶 ディスプレイパネル	VAパネル (LEDバックライト)		
		80V 型* (アスペクト比16 : 9)		
	画面寸法	幅 177.1 cm 高さ 99.6 cm 対角 203.2 cm		
	画素数	2,073,600画素 (水平1,920×垂直1,080) [ドット数5,760×1,080]		
	動作使用条件	温度：0℃～40℃ 湿度：20%～80% (結露のないこと)		
	ビデオ入力端子 AV IN	VIDEO	BNC接栓 1.0 V [p-p] (75 Ω)	
		AUDIO 1 IN	M3ジャック×1 0.5 V [rms] COMPONENT/RGB IN と共用	
	HDMI入力端子 HDMI1・HDMI2	TYPE Aコネクター×2		
	コンポーネント ビデオ/ RGB入力端子 COMPONENT/RGB IN	Y/G	BNC接栓 1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む	
		P _B /C _B /B	BNC接栓 0.7 V [p-p] (75 Ω)	
	デジタルRGB入力端子 DVI-D IN	P _R /C _R /R	BNC接栓 0.7 V [p-p] (75 Ω)	
		AUDIO 1 IN	M3ジャック×1 0.5 V [rms] VIDEO と共用	
	パソコン入力端子 PC IN	DVI-D 24ピン	DVI Revision 1.0準拠 HDCP 1.1対応	
AUDIO 2 IN		M3ジャック×1 0.5 V [rms] PC INと共用		
シリアル端子 SERIAL	ミニD-sub 15ピン SXGA対応：マルチスキャン方式 (DDC2B対応) *対応周波数：水平15 kHz～110 kHz 垂直48 Hz～120 Hz (但し表示ドット数が水平あるいは、垂直画素数を超える信号は簡易表示)			
	Y/G	1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む 0.7 V [p-p] (75 Ω) 非同期信号時		
モニターアウト端子 PC OUT	P _B /C _B /B	0.7 V [p-p] (75 Ω)		
	P _R /C _R /R	0.7 V [p-p] (75 Ω)		
USBメモリー端子 USB (VIEWER)	HD/VD	1.0～5.0 V [p-p] (ハイインピーダンス)		
	AUDIO 2 IN	M3ジャック×1 0.5 V [rms] DVI-D INと共用		
DIGITAL LINK端子 DIGITAL LINK, LAN	RJ45 ネットワーク接続用、DIGITAL LINK接続用、PLink™対応 通信方式：RJ45 100BASE-TX			
外部スピーカー端子 EXT SP	8 Ω、20 W [10 W + 10 W] (10 % THD)			
外形寸法	幅 186.8 cm 高さ 109.3 cm 奥行 9.9 cm			
質量	約 83.0 kg			
キャビネット材質	前面：アルミ、バックカバー：樹脂			
リ モ コ ン	品番	N2QAYB000691		
	使用電源	DC 3 V (単3形乾電池2個)		
	操作距離	約 7 m以内 (液晶ディスプレイ正面距離)		
	使用範囲	受信部左右：30°以内、受信部上下：20°以内		
	質量	約 100 g (乾電池含む)		

※ ディスプレイのV型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

当製品に関するソフトウェア情報

© Panasonic Corporation 2013

この製品は、下記のソフトウェアを搭載しております。

- (1) パナソニック株式会社の独自開発ソフトウェア
- (2) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェア
- (3) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェア
- (4) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (5) オープンソースソフトウェア

上記 (2) と (3) のソフトウェアに関するライセンス条件に関しては、CD-ROM 内のソフトウェアライセンス文 (GNU GENERAL PUBLIC LICENSE 並びにGNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE) の規定をご参照ください。(なお、かかる規定は第三者による規定であるため、原文 (英文) で記載しております。)

これらのソフトウェアに関するご質問は、E メール (oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com) でお問い合わせください。

上記(5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、下記に掲載されるライセンス条件をご参照ください。

zlib License

Copyright (c) 2002-2013 MediaArea.net SARL. All rights reserved.

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

MediaInfo(Lib) License

Copyright (c) 2002-2013 MediaArea.net SARL. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及びMPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておられません。

- (i) 画像情報をAVC 規格、VC-1 規格及びMPEG-4 Visual 規格に準拠して (以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ) 記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

商標について

- VGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
 - Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Macintosh、Mac、Mac OS、OS X、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
 - RoomView、Crestron RoomView、Fusion RV は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。Crestron Connected は Crestron Electronics, Inc. の商標です。
 - Miracast は Wi-Fi Alliance の商標です。
 - Android は、Google Inc. の商標です。
 - iPad、iPhone、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番
	販売店名	☎ () -	お客様ご相談窓口 ☎ () -

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

© Panasonic Corporation 2014